

体育学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP001	体育・スポーツ学分野研究方法論	1	1.0	1・2	秋AB	金2	5C307	清水 諭, 坂入 洋右, 仲澤 眞, 深澤浩洋, 澤江 幸則, 大熊 燦雨, 國部 雅大, 大石 純子	人文社会科学の研究にとって必要な知識基盤として、様々な研究方法論の基礎を学習する。論文執筆のために必要な手順について理解し、人文社会科学の研究手法論について興味を持ち、理解するための基礎を自ら学んでいくことを目的とする。	01EH004と同一。
OATP002	健康体力学分野研究方法論	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中	5C317	大森 肇, 西嶋 尚彦, 征矢 英昭, 武田 文, 藤井 範久, 武政 徹, 木塚 朝博, 前田 清司, 麻見 直美, 大藏 倫博	体育学における健康体力学分野の研究に必要な概念と研究方法について学び、自ら研究計画を立案できる基礎を作る。	01EH005と同一。
OATP003	コーチング学分野研究方法論	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中	5C317	川村 卓, 内山 治樹, 大山 卞 圭悟, 山田 永子, 渡邊 仁, 吹田 真士, 増地 克之	コーチング学の様々な研究方法に関して方法別に学ぶ。コーチングを学問として捉えるには様々な分野研究方法を学ぶ必要がある。学際的に応用できるように、様々な角度から学習を行う。 第1回 イントロダクション: 研究方法の紹介、第2回 コーチング学研究法: チームマネジメント、コーチング原論、第3回 バイオメカニクス研究法1: 3次元動作分析法、キネマティクス、キネティクス、第4回 トレーニング学研究法: トレーニングの諸原則、体力評価、第5回 質的研究法: エピソード記述、事例、第6回 アンケートの方法: 質問紙法、多変量解析、第7回 運動学研究法: マイネル、現象学的還元、第8回 生理学研究法: 最大酸素摂取量、AT、第9回 コーチング学における統計学: 確率、基本統計量、第10回 まとめ	01EH006と同一。
OATP010	研究ワークショップ	2	1.0	1	秋AB	月5	5C512	坂入 洋右, 大藏 倫博, 仙石 泰雄	スポーツ・健康科学分野のテーマに関する研究について、各自の研究をまとめて学会等において発表ができるようになることを目標として、必要な知識と具体的方法を、講義、演習、発表練習およびディスカッションを通して学ぶ。	
OATP011	研究基礎共通実習(PBL)	3	1.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		清水 諭, 片岡 千恵, 坂本 拓弥, 松井 崇, 木越 清信, 角川 隆明	本授業は、スポーツ科学や体育科学にかかわる問題を自ら発見し解決する過程を、グループでの協働作業を通して学ぶことを目的とする。授業は、チューターとしての教員と少人数のグループを構成する学生によって進められる。具体的には、毎時間、あるテーマに沿ってシナリオを読み、疑問点を出し合う。そして、問題点を整理し、各自が自分の意見を述べ、さらに深い問題を発見する。まとめとして、個人あるいはグループで問題を解決する方法を探り、レポートする。学生は、こうした過程を通して、発言者の意図を理解し、グループの目的を達成するために効果的なコミュニケーションのあり方を学ぶ。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。
OATP012	健康・スポーツ科学のための統計学	1	2.0	1・2	春AB 春C	水1 集中	5C317	西嶋 尚彦, 大藏 倫博	健康科学研究とスポーツ科学研究での実験と調査から得られるデータ分析の手法を実践し、数理モデルなどの理論を理解することを通して、研究データの統計分析の実践技能を養う。 基礎的および先端的な健康・スポーツ科学研究に用いる統計的分析法について概説する。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。 01EH014と同一。
OATP013	健康・スポーツ科学のための英語上級	1	1.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		ラクワール ランディープ	体育並びにスポーツ科学に関連した、より高度な英語の読解力並びに表現力を身につける。 (Objective of this course is to improve writing listening, and speaking ability in English in Physical Education and Sport Science at an advanced level.)	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 英語で授業。
OATP020	つくばサマインスティットアウト	4	2.0	1・2	春C	集中		長谷川 悦示, 小野 誠司, 大森 肇, 松元 剛, 大石 純子	筑波大学体育系と学術協定を結んでいる海外の大学と共同で企画する、英語を公用語とするプログラムである。体育・スポーツ領域にかかわる大学生・大学院生、若手研究者を対象とし、日本の体育・スポーツ文化を理解し、体育・スポーツ教育、スポーツ科学に関わる諸外国の現状と課題について情報を共有し、協力して国際的課題に取り組むグローバル人材として資質の向上を図ることをねらいとする。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP021	International Sport Policy Studies (国際スポーツ政策研究)	1	1.0	1・2	春C	集中		清水 諭	本講義では、主に英国やヨーロッパにおける事例を紹介しながら、スポーツ政策の国際的動向について把握するとともに、それらの諸実践を分析するための理論的枠組みについて理解することを目的とする。具体的には、教員による講義および履修学生によるプレゼンテーションを通じて、開発と平和のためのスポーツ、エリートスポーツ、オリンピック・パラリンピックのレガシーなどに関わる政策を対象としながら、スポーツ政策の国際的動向と課題、そして今後の可能性について学修する。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH024と同一。 英語で授業。
OATP022	Advanced Coach Education (上級コーチ教育論)	1	1.0	1・2	春AB	水2		松元 剛, 和久 貴洋, 渡部 厚一, 福田 崇	トレーニング方法、情報戦略、国際的な動向など、指導者の質保障を多面的にとらえ、指導者育成の観点からコーチ教育について考える。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH025と同一。 英語で授業。
OATP023	Management and Organization (経営マネジメント論)	1	1.0	1・2	春C	集中		山口 拓	スポーツ国際開発学の理論と実践を概観し、国際的・社会的・文化的な課題解決に向けたスポーツによる取り組みを学ぶ。 講義では、特に開発課題に焦点化して、諸課題の特性と持続可能な平和的社会の実現に向けたスポーツの役割に関して討論形式で学ぶ。 更に、スポーツ国際開発(IDS)のマッピング、NGOでのIDS活動、組織マネジメント理論、ケース探索と理論的適応などを議論を踏まえて検討する。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH026と同一。 英語で授業。
OATP024	Project Management (プロジェクトマネジメント論)	1	1.0	1・2	秋B	集中		山口 拓	開発援助の実践力を高めるべくロジックモデルを改変された「プロジェクト・サイクル・マネジメント」に沿った計画・評価の手法を学ぶ。 ・基礎講座:国際協力のトレンド、プロジェクトのPDCAサイクル ・実践講座:ケールスタディーを用いた実践的検討:プロジェクト・サイクル・マネジメント(PCM)、プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)、評価・モニタリング手法	01EH027と同一。 英語で授業。
OATP031	JSC Seminar (JSCセミナー)	2	1.0	1・2	春C秋ABC	集中		清水 諭, 和久 貴洋, 勝田 隆	スポーツの推進に寄与するスポーツイノベーション人材を戦略的に発掘・育成する。日本スポーツ振興センターの持つ資源や事業を活用してスポーツ現場における組織間の越境学習を行い、人材育成ノウハウ、カスタマイズ型の育成プログラムを学ぶ。目標は、以下の通り。 1. 国際舞台において、「1 指導的役割(コーチング)」や「2 スポーツ事業を企画・推進する役割(スポーツアドミニストレーター)」を担う人材に求められる資質や能力を育成する。 2. グローバルかつイノベーション人材の発掘や育成、活用のために必要なシステムおよびプログラムなどについて実践的に学習する。プロジェクト会議、ワークショップ、カンファレンス企画及び開催、コンサルテーション活動などを視察・支援するために不可欠な基礎知識や情報、物事の見方等を身につける。	01EH028と同一。
OATP032	JSC Project (JSCプロジェクト)	1	1.0	1・2	春C秋ABC	集中		清水 諭, 和久 貴洋, 勝田 隆	スポーツ界の最前線における多種多様な職務経験の機会を幅広い候補者に提供していく。日本スポーツ振興センターが保有する資源(各種受託事業、JISS、国際連携等)を活用することによって、パートナーシップ締結団体の組織の壁を越えた「越境学習」プログラムを遂行する。組織や人材の連携と協働、あるいは「スポーツ資源の開発」の基礎的経験を通じて、「人の間」に入り尽力するために、自分自身の課題や将来構想のヒントを経営的な視点から整理できる能力を身につける。	01EH029と同一。
OATP033	On the Job Practice (Domestic)	3	2.0	1	春C秋ABC	集中		清水 諭, 和久 貴洋, 勝田 隆	日本スポーツ振興センターなどのスポーツおよび国際開発に関連する組織において4週間の研修を行う。 スポーツと国際開発に関連のある組織の活動に関わることにより、実践経験を積む。各自の興味関心、ニーズや強みなどの理解し、組織における事業の特徴や経営方針などを理解する。こうした学習を通して、受講生各自がキャリアプランを構築する。	01EH030と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP041	Sport, Culture and Society (スポーツ・文化・社会)	1	1.0	1・2	秋AB	木1		清水 諭	スポーツ社会学における理論と実践の研究を基礎にして、スポーツを通じた国際開発と平和構築に関する批判的思考力を身に付ける。 スポーツと身体に関する具体的事例について討議を行い、権力の作用について学習する。IDS・SDPの理論について理解し、実践に関する批判的思考力を身に付ける。	教室:GS1棟301 01EH032と同一。 英語で授業。
OATP101	スポーツ経営学	1	1.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		清水 紀宏	体育・スポーツの推進に相応しいスポーツ経営の考え方、及び経営組織と事業運営について解説する。まず、各組織体のスポーツ経営に直接・間接的に多大な影響を及ぼすスポーツ関連法および国のスポーツ政策(スポーツ基本計画2000、スポーツ基本法2011、スポーツ基本計画2012等)について批判的に検討した上で、スポーツ経営の現代的課題とその解決に向けた経営方略を概説する。次に、スポーツ関連法及び政策の理解を基に、学校体育と地域スポーツが直面している経営課題を整理し、この領域におけるスポーツ事業や経営過程をめぐる実態と課題について検討する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 01EH119と同一。
OATP102	体育・スポーツ哲学	1	1.0	1	秋B	集中		深澤 浩洋	体育ならびにスポーツの概念、現状、背景となる思想・社会的状況について洞察する力を養うことを目指す。体育・スポーツ概念の鍵の一つである身体の捉え方や身体の経験をめぐる、体育哲学とスポーツ哲学のそれぞれのスタンスから講義を行う。 スポーツに関しては、身体的契機、知的契機、感性的契機の三契機から、また、体育に関しては、関係性、重層性、超越性という三つの視点から論ずる。 こうした基本的な考え方を踏まえつつ、体育・スポーツに関する現代的特徴を取り上げ、哲学的に考察、ディスカッションする。	01EH411と同一。
OATP103	スポーツ史学	1	1.0	1	秋AB	火2	5C404	大熊 燦雨	人間の歩みの総体である歴史、その歴史に対するより正しい認識と解釈を求め人類が試みてきた様々な方法を学習する。資料を取り扱う諸学問に通じる質的研究方法、とりわけ史学の営みを通して、驚嘆する感性と懐疑する精神を身に付け、現代の体育・スポーツを意識的に探究する。講義は、受講生とのコミュニケーションを取りながら講義形式をベースに行い、人類進化の序幕、歴史とは何か、歴史研究とは何か、歴史学における原則、史料収集論、史料解読と解釈、歴史学における理論とスポーツなどを通して、スポーツを史的に探究する。	
OATP105	スポーツ産業学	1	1.0	1・2	春AB	木4	5C413	仲澤 眞	レジャー・スポーツ産業を対象に人文・社会科学的な視点から検討し、レジャー・スポーツ産業に関する基本的な知見を学習するとともに、当該領域における当面の問題を明らかにし、基本的研究課題を理解する。	Zoomなどリアルタイム 双方向サービスを用いて 正規の授業期間に開講する (manabaの併用を含む) 01EH415と同一。
OATP106	スポーツ社会学	1	1.0	1・2	春AB	月4	5C403	清水 諭	スポーツ社会学に関する研究方法や基本的概念について学習する。スポーツと地域の暮らしや環境問題などについて様々なトピックスなどを取り上げて、社会学の立場から検討し、討議を行っていく。こうした学習活動を通じて、スポーツ社会学に関する理解を深める。	Zoomなどリアルタイム 双方向サービスを用いて 正規の授業期間に開講する (manabaの併用を含む) 01EH434と同一。
OATP107	スポーツ政策学	1	1.0	1	春AB	水3	5C616	齋藤 健司, 成瀬 和弥, 菊 幸一	スポーツ政策の現状と課題に対する理解を深めるとともに、スポーツ政策学の理論と視座を考える。	manabaを用いて正規の 授業期間に開講する。 01EH438と同一。
OATP110	フェアプレイ論	1	1.0	1・2	秋C	木5,6	5C317	深澤 浩洋	フェアネスの歴史的概観やフェアプレイを奨励する運動を踏まえ、フェアプレイが主張される意味について、複数の価値観、道徳観から考察する。また、フェアプレイを奨励する運動に言及する。実際にフェアプレイに徹するスポーツパーソンを育成するにはどうしたらよいか、どのようにフェアプレイ教育を展開していけばよいかということについて考察し、自分なりの見解を論理的に展開できることを目標とする。毎回あるテーマについて、グループディスカッションを行い、その結果を発表する。 フェアネスの概念、スポーツのルールとエトス、フェアプレイの歴史、フェアプレイをめぐる問題の語られ方(個人と組織)、アンフェアの背景、フェアプレイキャンペーン、フェアプレイ奨励の方策、フェアプレイ教育の構想	01EH401と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP111	身体文化論	1	1.0	1・2	春C	集中		深澤 浩洋, 大熊 燦雨	伝統文化、体操、体育、スポーツなどを具体的に取り上げながら、文化的社会的に構築される身体と身体観について理解を深める。文化社会学、歴史学、哲学を基礎としながら領域を越えて議論し、身体文化に対するアプローチを切り開く。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。 01EH417と同一。
OATP113	スポーツ法学	1	1.0	1	秋AB	火3	5C412	齋藤 健司	スポーツに関する基本法令、判例、法制度及び法的諸問題について概説し、スポーツ法学に関する理論、スポーツ法の体系及びスポーツ法政策の基礎知識を学ぶ。 スポーツ法の体系、スポーツ基本法、スポーツ権、スポーツ仲裁法、アンチ・ドーピング法、体育に関する法令、スポーツの知的財産権、スポーツ放送法、プロスポーツ関連法、スポーツビジネス関連法、選手契約などを解説し、議論する。	01EH421と同一。
OATP114	スポーツ行政学	1	1.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		成瀬 和弥	行政学の視点から、日本のスポーツを検討し、中央政府や地方政府の組織、制度及び政策などについて、その基礎知識を学ぶ。日本のスポーツ行政過程の構造や機能について理解を深める。また、授業の後半(5回目以降)にはグループディスカッションを行う。グループごとに日本のスポーツ問題を検討し、仮説を設定してその問題を解決するための方策を立案する。グループごとに、その内容を発表し、他のグループとディスカッションを行う。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 01EH422と同一。
OATP115	スポーツビジネス論	1	1.0	1・2	秋AB	木4	5C302	仲澤 眞, 嵯峨 寿, 高橋 義雄	(1)プロスポーツの運営や(2)スポーツメーカーのブランディング、(3)スポーツツーリズムなどを事例に、スポーツとビジネスの関係について理解を深めていく講義である。	
OATP116	スポーツを通じた開発論	1	1.0	1	春AB	火3	5C413	山口 拓, 佐藤 貴弘	国際社会では、複雑に相互依存が深化する世界構造の下で、社会課題を改善するために、「地域・地球規模の連携」、「社会関係資本の構築」、「国際的課題の改善」を求める「スポーツを通じた開発」或は「開発と平和のためのスポーツ」行動が地球規模的に展開され始めている。 本講座では、国内外の課題を探求し、その課題に対して採られる「スポーツを通じた開発」の事例を各専門領域の理論によって読み解くために議論を交わしながら検討する。 (1)既存研究によるケースの批評的検討(3回)、 (2)課題的検討(2回)、(3)方法論的検討(2回)、 (4)実践的検討(3回)	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。
OATP117	スポーツメディア論	1	1.0	1・2	秋C	集中		清水 諭	現代社会におけるスポーツイベントとメディアの親和性について、その歴史について学習し、映像メディアを介して表象化される人種、ジェンダー、ナショナルリティの諸問題について理解を深める。 1. スポーツイベントの成立構造について、スポーツの組織と連盟、メディア、資本主義企業、そして代理店の関係から説明することができるようにする。 2. 身体パフォーマンスをもとにした集会的想像力と表象、及びその文化政治について例をあげながら説明することができるようにする。 3. 人間とメディアとの関係について、歴史を踏まえて、例をあげながら説明することができるようにする。	01EH425と同一。
OATP118	スポーツ文化・経営政策共通実習	2	1.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		仲澤 眞, 齋藤 健司, 深澤 浩洋	スポーツ文化・経営政策に関連する諸事象について問題発見・課題解決能力の涵養を図り、生きた知識を身につけることを目的とする。各自が選択した担当教員の指導の下、スポーツ関連施設や組織等で行われている活動に触れたり調査を行ったりする。	担当教員の元へ赴き、説明を受け、指導教員を決めること。スポーツ文化・経営政策系列必修 対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 01EH426と同一。
OATP131	スポーツ文化・経営政策インターンシップ春	3	1.0	1・2	春C 夏季休業中	随時		インターンシップ担当教員	春学期から夏季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、行政機関、スポーツ施設など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	manabaを用いて夏季休業中に開講する。 01EH427と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP132	スポーツ文化・経営政策インターンシップ秋	3	1.0	1	秋C春季休業中	随時		インターンシップ担当教員	秋学期から春季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、行政機関、スポーツ施設など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	01EH428と同一。
OATP141	地域スポーツ経営論	1	1.0	1・2					地域スポーツをめぐる政策動向とその背景をふまえ、地域スポーツクラブの現代的意義とその組織化の方法論について理解する。まず、地域スポーツ経営領域の特質と固有のミッションを基準としながら、わが国におけるクラブ育成状況やクラブマネジメントの実態を評価する。次に、この現状評価とクラブ理念型との乖離を埋めるクラブの戦略的課題を特定化する。さらに、経営課題を克服するための組織マネジメントの要点を、いくつかのクラブ先進事例から読み解くことで、コミュニティ振興とスポーツ振興の同時達成の方法を解説する。	01EH432と同一。 2020年度開講せず。
OATP142	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4	5C508	齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。 リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	01EH439と同一。
OATP143	スポーツマーケティング論	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中			スポーツマーケティングの目的、方法に関する基礎理論を理解するとともに、商業スポーツ施設経営やスポーツイベント経営など具体的なスポーツ経営を事例にした検討を通して、実践的な考え方を養う。	
OATP201	体育科学学習指導論	1	1.0	1	秋AB	月2	5C212	長谷川 悦示	良質な体育授業を実施するために必要な学習指導上の諸条件とそれを具体化していくために必要な教員の資質について模擬授業の立案計画と実施による直接的な実践体験を通して学修する。体育科教育に必要とされる学習指導方略、学習指導過程、学習組織、学習指導モデルなど専門職知識と技能について理解を深める。 受講生は複数の授業者グループごとで、授業計画を立案し、教師役・生徒役・観察者を相互に役割分担して模擬授業を実施する。体育授業を分析する方法と授業を省察する能力の向上をねらって、受講者はe-Learningによる授業評価システムを用いてビデオ収録された授業映像を視聴しながら、観察分析データを参照して授業評価・省察を実施し、反省会ではそれをもとに討議する。第1～3回は指導案作成、第4～6回は模擬授業実施。第7回に中間反省会。第8～10回は修正案による模擬授業実施。第11回は最終反省会(最終課題の確認)を実施する。	専修免許の一括申請に必要な科目。春学期に受講希望者を対象にガイダンスを行うので、必ず出席するようにしてください 01EH471と同一。
OATP202	学校健康教育論	1	1.0	1	秋C	集中		片岡 千恵	本授業では、学校における健康および安全の課題について、教育的視点から論じる。具体的には、学校における健康教育の現状と課題について解説するとともに、喫煙防止教育、飲酒防止教育、薬物乱用防止教育、食に関する指導、性に関する指導等を取り上げ、その内容と方法について講義する。また、学校における健康教育の指導者として身に付けるべき資質・能力について概説する。本授業を通して、学校における健康教育の課題、考え方や進め方等について、理解を深めることを目的とする。	各日10:10-18:00 01EH472と同一。 1/9-1/10

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP203	アダプテッド・スポーツ教育論	1	1.0	1	秋AB	月4	5C508	齊藤 まゆみ, 澤江 幸則	特別支援教育におけるアダプテッド・スポーツ教育について、特別支援教育の制度とアダプテッド・スポーツ、障害のある生徒とアダプテッド・スポーツ、インクルーシブ体育とアダプテッド・スポーツ、体育・スポーツにおける支援という視点から講述し、アダプテッド・スポーツの方法について ICF (International Classification of Functioning, Disability and Health) の概念をもとに説明できること、発達障害のある子どもの実態を複合的に説明でき、発達障害のある子どもの支援に対して多面的にアイデアを出すことができることを目標としている。	01EH473と同一。
OATP204	スポーツカウンセリング論	1	1.0	1	春AB	水2	5C317	坂入 洋右	カウンセリングの基本的な理論と技法を理解するとともに、スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の健康増進および競技や日常生活におけるパフォーマンスの向上を目的とした指導や援助の基本的技術を学ぶ。スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の問題の改善やパフォーマンス向上を目的とした心理的サポートとして、指導者や援助者に必要なカウンセリングの理論と方法を、健康心理学およびスポーツ心理学の最新の知見を踏まえて学ぶ。	Zoomなどリアルタイム 双方向サービスを用いて 正規の授業期間に開講する (manabaの併用を含む) 01EH465と同一。 AT必修科目
OATP206	大学体育教育論	1	1.0	1・2	春C	集中		高木 英樹, 白木 仁, 鍋倉 賢治, 坂本 昭裕, 木内 敦詞, 長谷川 悦示	体育を専攻しない大学生への体育授業や運動部活動のあり方を考えることは、将来の大学体育教員をめざす大学院生へ向けたキャリア教育ともいえる。これらを踏まえ、本授業では、大学生のための教養体育授業や運動部活動に焦点をあて、それらを体系的・多面的に学ぶ。	Zoomなどリアルタイム 双方向サービスを用いて 正規の授業期間に開講する (manabaの併用を含む)
OATP210	保健社会学	1	1.0	1	秋AB	金3		武田 文, 門間 貴史	健康の概念に関する医学モデルと社会モデルの各理論、健康づくり、健康増進および健康の社会的要因に関する基本パラダイムを学ぶ。また超少子高齢社会における公衆衛生の基本戦略、親子保健・老人保健の各領域における直近の健康課題とそれに対応する各種の法制度・政策・サービスの現状を理解する。	教室: 総合研究棟D117 01EH204と同一。
OATP212	学校体育経営論	1	1.0	1	秋AB	木5	5C504	清水 紀宏	現在生じている学校体育及びその関連問題についての相互批判的議論を通じて、多角的で俯瞰的な視野をもつと共に、学校体育の総合的な経営理念や経営哲学を鍛える。具体的には、「学校体育における専門性とは何か」「学校体育における教育内容の選択原理は何か」「義務教育における自由化(競争原理の導入)の是非」等の本質的問いについて、ディベート形式の集団討議を通じて議論を深める。そして最終的には、学校体育経営の哲学の根幹となる「学校体育の存在意義」について批判的に考察し、各自の教育改革プランを構想する。	西暦偶数年度開講。 01EH431と同一。
OATP213	武道授業指導論	1	1.0	1	春A 春B	月1	柔道場、剣道場、柔道場	香田 郡秀, 有田 祐二, 鍋山 隆弘, 岡田 弘隆, 増地 克之	学校における武道の指導法について検討し実習する。	教室: 武道館 柔道場、 剣道場
OATP214	スポーツ心理学	1	1.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	集中		坂入 洋右	アスリートの心理サポート現場での心理的諸問題の解説ならびに課題への対処方法について概説する。 授業項目: スポーツ心理学(臨床スポーツ心理学)の歴史と概観、心理サポートのアプローチ、スポーツメンタルトレーニングの概要、スポーツカウンセリングの概要、実践と研究、心理臨床学的方法、タレント発掘、青年期におけるスポーツ経験と人格形成、スポーツ傷害と心理(事例中心)、メンタルトレーニング事例、アスリートの相談事例	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する。 01EH478と同一。 AT必修科目
OATP215	運動学習心理学	1	1.0	1	秋AB	月4	5C406	國部 雅大	人間の運動学習(Motor Learning)と運動制御(Motor Control)について、知覚-運動統合の過程を中心に学ぶ。	AT必修科目
OATP216	保健教材論	1	1.0	1	秋C	金1,2	5C212	片岡 千恵	本授業では、中学校および高等学校における保健科教育の教材について分析し、実践的に演習する。保健の教育内容を踏まえて、学習者の思考・判断を促したり、学習意欲を高めたりするような教材のあり方について理解するとともに、その具体的な教材づくりを行う。また、作成した教材を授業の中でどのように活用するかについてディスカッションする。本授業では、保健科教育における教材の分析を通して、教材開発や活用方法についての理解を深めることを目的とする。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP217	野外教育プログラム論	1	1.0	1	春AB	木2	5C618	渡邊 仁	本授業では、野外教育で展開される各種プログラムを多面的に理解し、野外教育プログラムを自ら計画・運営・評価する能力を高めることを目標とする。具体的には、各種プログラムの特徴・目的・指導法・安全管理等について理解を深めるとともに、プログラムの計画や運営する能力を高め、地域の様々な資源(自然環境、地域文化等)を生かしたプログラム開発に取り組む。授業の最終回には、グループワークとして、ある条件を満たした「野外教育プログラム」のプレゼンテーションが課される。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH484と同一。
OATP218	野外教育指導論	1	1.0	1	春AB	火5	5C618	坂本 昭裕	野外教育プログラムであるキャンプやASE(Action Socialization Experience)指導の特徴の一つは、グループを指導することにある。本時では、1)キャンプやASEなどのグループカウンセリングの理論と方法について理解すること。2)グループの特徴について体験的に理解すること。3)自然体験活動を活用したプログラムにおけるカウンセリングの諸課題について理解することが目的である。なお、2)については、野性の森内のASE施設における活動を実際に体験することによって理解を深める。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH486と同一。
OATP219	体育授業観察分析法I	2	1.0	1	秋AB	随時		長谷川 悦示	体育授業の組織的観察法についての、そのねらい、手段、手順を学習し、この方法を用いて実際の体育授業を観察し分析し評価する能力を育成する。 学習目標:体育の学習指導を方向付けている様々な研究法や理論について理解する。また、実際の授業を観察し、そこに適用されている学習指導論を分析、評価することによって、基礎的な研究力を養う。	春学期に受講希望者を対象にガイダンスを行うので、必ず出席するようにしてください。
OATP220	体育授業観察分析法II	2	1.0	1	秋AB	集中		齊藤 まゆみ, 澤江 幸則	アダプテッド体育の視点をもった授業づくりのための理論を学び、特別支援学校や特別支援教育対象生徒が参加する体育授業を観察評価するとともに教材開発を行う。	
OATP231	健康・スポーツ教育インターンシップ春	3	1.0	1・2	春C夏季休業中	随時		インターンシップ担当教員	春学期から夏季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、学校における授業や部活動、行政機関など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	manabaを用いて夏季休業中に開講する。 01EH490と同一。
OATP232	健康・スポーツ教育インターンシップ秋	3	1.0	1	秋C春季休業中	随時		インターンシップ担当教員	秋学期から春季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、学校における授業や部活動、行政機関など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	01EH491と同一。
OATP241	野外教育実習(キャンプ)	3	1.0	1	夏季休業中	集中		坂本 昭裕, 渡邊 仁	本授業では、代表的な野外教育プログラムの形態である「組織キャンプ」について、自らその教育的価値を実体験しながら、基本的な計画(事前授業)・運営(本実習)・評価(事後授業)の方法を実践的に学習する。具体的なプログラムや学習内容は、野外生活スキル、冒険教育プログラム、環境教育プログラム、キャンプマネジメント、キャンプカウンセリング、指導法、安全教育と安全管理、環境倫理、環境配慮スキル、サバイバル技術等を含んでいる。	
OATP242	舞踊授業指導論	1	1.0	1・2	秋AB	火2		寺山 由美	体育授業としての舞踊(ダンス)の授業(学習指導)における理論と実践方法について関連する文献と実践事例を基に検討するとともに、主な学習内容(創作系、リズム系、フォークダンス系)の特性を踏まえた指導計画を作成し検討していく。ダンスの特性、学習内容、指導計画、指導言語、学習評価などに着目し、舞踊の授業指導への理解を深める。それらの知見を基に、学習者と指導者の関係性から授業をどのように創造していくのかを検討する。	教室:体育系棟A415(舞踊作業室) 西暦偶数年度開講。 01EH664と同一。
OATP301	体力学特講	1	1.0	1・2	春AB	金1	5C407	木塚 朝博, 鍋倉 賢治, 小野 誠司, 榎本 靖士	体力・運動能力に関する様々な概念や構成要素を復習し、発達加齢段階や各種レベルに応じた測定法、最新の解析法を解説することを通して、運動遊び、エクササイズ、トレーニングなどが、健康体力や競技体力に及ぼす効果について学ぶ。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。 AT必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP302	スポーツ生理学特講	1	1.0	1	春AB	水2	5C307	藤井 直人, 西保岳, 武政 徹	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環及び体温調節系の役割について理解するため、以下のキーワードに関連して解説する。 骨格筋系のキーワード: 重村式トレーニング法、筋肥大、遺伝子ドーピング、サルコペニア、冬眠、レーシングパフォーマンスを上げる遺伝子、老化を遅らせる運動 呼吸循環系のキーワード: ガス交換、酸素摂取量、血管調節、発汗調節、高地トレーニング、暑熱順化、水分調節	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。 01EH531と同一。 AT必修科目
OATP303	スポーツ生化学特講	1	1.0	1	春AB	火1	5C308	征矢 英昭, 大森肇, 岡本 正洋, 松井 崇	スポーツ生化学に関する国内外の専門書、文献、研究論文等を講読し、スポーツ生化学の対象領域、基本概念、研究方法などを学習することによって研究に必要な基礎的能力を身に付ける。運動が身心に及ぼす影響とトレーニング効果に関してスポーツ生化学の立場から理解を深め、健康や運動パフォーマンスの維持・増進のメカニズムを理解する。演習の最後に受講生の発表会を行い、教員と受講生の間で討議を行う。参考図書: 脳を鍛えるには運動しかない(NHK 出版)、からだの中からストレスをみる(学会出版センター)、使えるスポーツサイエンス(講談社サイエンティ)	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。 01EH532と同一。 AT必修科目
OATP304	スポーツ栄養学特講	1	1.0	1・2	秋AB	月2	5C508	麻見 直美, 下山寛之	時代に即したスポーツ・運動栄養学への理解を深めるために、運動(身体活動)、トレーニング、スポーツに関連した栄養、食生活、食事摂取基準、酸化ストレス、酸化ビタミン、エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、タンパク代謝、骨(フィーメールアスリートトライアドを含む)、貧血、水分代謝、休養(睡眠・時差)などのトピックスを取りあげて、講義を行う。加えて、スポーツ栄養の今日的現場課題について問題理解と解決策検討について議論する。	01EH533と同一。 AT必修科目
OATP306	ヘルスフィットネス橋渡し研究概論	1	1.0	1	秋AB	月1	5C317	征矢 英昭, 大森肇, 西保 岳, 武政 徹, 西嶋 尚彦, 鍋倉 賢治, 木塚 朝博, 小野 誠司, 榎本 靖士, 麻見 直美, 大蔵 倫博	ヘルスフィットネス分野における基礎的研究と応用・臨床的研究の関係性および研究をスポーツ実践(現場)や生活・健康に生かすための課題や工夫について解説する。	01EH552と同一。
OATP307	体育測定評価学特講(発育発達学を含む)	1	1.0	1・2	春AB	木1	5C317	西嶋 尚彦	目標: 運動能力とその発達、体育、運動・スポーツにおける測定学および評価学の基礎的および先端的な研究方法について理解する。専門とする研究分野における基礎的および先端的な実験方法、調査方法における測定方法を理解する。 授業計画の概要: 尺度水準と水準ごとの記述統計量、体育評価で用いる達成度評価テストの構成、運動技能の達成度評価、動作技能の達成度評価、戦術技能の達成度評価、構造方程式モデリングを適用した因果関係の測定、実験デザインと分散分析による平均値の差で要因の効果を測定する。スポーツビッグデータからプレーの達成度を測定する。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。 01EH551と同一。
OATP311	スポーツ栄養学実験実習	3	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		麻見 直美	スポーツ栄養学領域の調査、実験を行うに必要な知識と技術を、実験・実習を通して学習する。それぞれの履修者のこれまでの学習背景、現在からこれからの研究領域を考慮して、履修者それぞれの知識ニーズに個別に対応した課題設定を行って実施する。	スポーツ栄養学特講受講者に限る。対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 01EH218と同一。
OATP312	スポーツ生理学実験	3	2.0	1・2	春AB秋AB	金4,5	5C402	西保 岳, 武政 徹, 藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環系の下記のキーワードに関する研究方法を理解することを目的として、実験実習を行う。履修はスポーツ生理学の基礎を学んだものに限る。 骨格筋系のキーワード: 筋肥大、筋持久力増強、筋萎縮を誘導する動物(マウス)実験系、打撲刺激、鍼刺激、切片の免疫組織化学、蛋白質解析(ウエスタンブロット)、mRNA解析(Real-time PCR)、培養骨格筋細胞、細胞外フラックスアナライザー 呼吸循環系のキーワード: 最大酸素摂取量、血管機能測定、呼吸機能測定、体温調節機能	スポーツ生理学特講の受講者に限る

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP313	スポーツ生化学実験	3	2.0	1・2	秋AB	火1,2	5C412	征矢 英昭, 大森 肇, 岡本 正洋, 松井 崇	実験を行うことを通して、実験機材の取り扱いかた、研究資料の収集法、実験材料の分析法を身に着ける。これによって、運動と代謝・内分泌応答に関する基礎的測定と評価法を理解し、研究を遂行できる実践能力を養成する。	スポーツ生化学特講の受講者に限る
OATP314	体力学実習	3	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		鍋倉 賢治, 木塚 朝博, 小野 誠司, 榎本 靖士	体力科学、体力・運動能力、体力トレーニング、運動遊びなどに関する国内外の学術論文、解説、著書、マニュアルなどを参考に、体力学領域における研究計画、研究方法、プレゼンテーションについて実習する。	体力学領域の所属学生に限る。対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。01EH556と同一。
OATP315	健康増進学実習	3	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		大藏 倫博, 前田 清司	一般健康者、高齢者、有患者を対象とした健康指標の検査・測定方法およびトレーニング方法の実際を学習する。学習目標は、中年から高齢者、有患者を対象とした健康運動指導法および健康支援法に関する実際を学び、基本的な指導ができるようになることである。	原則として、健康増進学領域の所属学生に限る。対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。01EH557と同一。
OATP316	体育測定評価学実習(発育発達学を含む)	3	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		西嶋 尚彦	目標:実験や調査のデータを統計分析して、結果を図表でまとめる。スポーツデータサイエンスのデータ分析手法を適用して、試合のプレー、トレーニング分析などのデータから知見をマイニングする。 授業計画の概要:自分の研究データを用いて、実験デザインおよび調査デザインに適合した統計分析手法を適用し、データを分析する。研究論文を参照して、方法を記述し、結果の図表を作成する。データ分析の手続きに従い、従属変数と独立変数、平均値構造と相関構造、因果関係の分析モデルを理解する。	体育測定評価学特講の受講者に限る。対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。01EH558と同一。
OATP321	基礎ヘルスフィットネス演習	3	1.0	1・2	秋AB	水1	5C301	大森 肇, 征矢 英昭, 西保 岳, 武政 徹, 西嶋 尚彦, 鍋倉 賢治, 木塚 朝博, 小野 誠司, 榎本 靖士, 麻見 直美, 大藏 倫博	最新のヘルスフィットネス分野の研究に関する動向を学び、研究デザインの組み立て方や分析方法について修得する。健康体力学分野に所属する教員がオムニバス方式で担当する。	01EH559と同一。
OATP331	ヘルスフィットネスインターンシップ春	3	1.0	1・2	春C夏季休業中	随時		インターンシップ担当教員	春学期から夏季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、地域スポーツクラブ、スポーツや健康に関連する企業や研究所など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。01EH545と同一。
OATP332	ヘルスフィットネスインターンシップ秋	3	1.0	1	秋C春季休業中	随時		インターンシップ担当教員	秋学期から春季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、地域スポーツクラブ、スポーツや健康に関連する企業や研究所など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	01EH560と同一。
OATP401	運動器のしくみと働き(基礎編)	1	1.0	1・2	春AB	火3	5C213	足立 和隆	運動器を構成する骨格、筋、神経系の概要を学ぶ。生物の形態は、その機能と深いかわりを持っている。地上性の脊椎動物(哺乳類)では、基本的に自身の身体の移動のために最も適した、骨格に基盤とする身体プロポーションをもち、その骨格をその目的(歩行、走行)が効率的に行えるように筋が配置され、また筋の特性もその運動にあっている。歩行、走行以外にも重要な運動があるが、いずれの運動においても関節の構造も大切であり、関節が運動を「制限」することによって目的とした運動が実現されることになる。運動器にはさらに、腱、靭帯も重要な要素としてかかわっている。神経系は、これらの特性も考慮して筋に指令を出している。このようなことがらについて、詳細を解説していく。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。01EH561と同一。AT必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP402	スポーツバイオメカニクス特講	1	1.0	1	秋AB	火4	5C513	藤井 範久	スポーツ動作や様々な基礎的運動をバイオメカニクスの側面から考察するために必要な基礎事項や分析手法、特に逆動力学的計算について解説する。具体的には、並進運動および回転運動における力学的法則を確認した後、剛体リンクモデルによる関節トルク算出手法について解説する。その際に、身体部分慣性特性係数についても解説するとともに、体育総合実験棟において身体運動の計測方法、地面反力の計測方法についても実演を行う。さらに、得られたデータをもとに、動作の変動性係数や動作逸脱度を用いた身体運動を評価する方法を解説する。	AT必修科目
OATP403	スポーツ用具と動きのしくみ	1	1.0	1・2	春AB	金2	5C406	小池 関也	スポーツ用具の性能向上のためのしくみについて紹介するとともに、パフォーマンス実現のための動きのしくみ(メカニズム)について解説する。用具として、各種打具、シューズ、各種ボール、水着などを例に挙げ、パフォーマンスに係る各種特性について、物理的な現象面あるいは生体力学的な視点から解説する。つぎに、スポーツ動作の各種分析手法を紹介したのちに、これらの分析手法を活用して得た各種動作の分析結果から、スポーツ動作における動きのしくみについて解説し、パフォーマンスの発揮メカニズムについて紹介する。	Zoomなどリアルタイム 双方向サービスを用いて 正規の授業期間に開講する (manabaの併用を含む) 01EH577と同一。
OATP404	女性スポーツ医学論特講	1	1.0	1	秋AB	水2	5C317	向井 直樹, 渡部 厚一	月経の調節機構と加齢による変化、妊娠による身体機能の変化と胎児の発育を学ぶ。激しいスポーツ活動に起因する月経異常の発現機転を理解する。また、妊婦のスポーツ活動が母体および胎児に及ぼす影響を理解する。	01EH240と同一。 AT必修科目
OATP405	機能解剖学実験	3	1.0	1・2	春C	集中	5C119	足立 和隆	身体運動の分析法について、以下の実験を行う。 1) Anakin Systemを使用したマーカーを使用しない動作計測法のデモンストレーションと実際にその装置を使用してヒトの動作の計測を行う。 2) 力の測定として、ロードセルを使用した筋力の測定を行う。ロードセルの原理、使用方法についても学習する。 3) 筋電図法の種類や測定時の注意事項について学び、実際に表面電極を使用した筋電図測定を行う。 4) 立位における重心動揺を、フォースプレートを使用して測定する。 5) 歩行分析に関して、動作と床反力の測定を行う。	manabaを用いて正規の 授業期間に開講する。 01EH251と同一。 AT必修科目
OATP406	運動器のしくみと働き(応用編)	1	1.0	1・2	秋AB	火3	5C508	足立 和隆	上肢の運動を上肢帯の運動、肩関節、肘関節、手関節における運動、さらに手首における運動に分け、それぞれの運動に関与する筋について、詳細を学習するとともに、これらの関節の詳細も学習する。下肢に関しても同様に、股関節、膝関節、足関節及び足部における運動に関与する筋の詳細を学習し、これらの関節の詳細も学習する。さらに、呼吸運動も含む体幹の運動についても、それに作用する筋について学習する。さらに、身体の総合的な運動である姿勢保持や歩行について、それらの分析法についても学ぶ。	01EH562と同一。 AT必修科目
OATP407	スポーツ医学基礎論実習I	3	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		前田 清司, 渡部 厚一, 中田 由夫	スポーツ医学(内科系)に関連する実習として、一般健康者、中高齢者、肥満者などにおける運動プログラムや食生活改善プログラムなどの生活習慣改善プログラムの実践により、その実際を学ぶ。さらに、これら生活習慣改善プログラムを通じて、種々の健康関連指標の評価方法や解析方法などを学習し、運動や食生活改善などの生活習慣改善が健康関連指標に与える影響を学ぶ。この実習により、スポーツ医学(内科系)の基礎的な実験手法などを身につけることを目標とする。	対面式授業など従来の 形式で夏季休業中・秋 ABCに集中などで開設 する(応談)。
OATP408	スポーツ医学基礎論実習II	3	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		白木 仁, 向井 直樹, 竹村 雅裕, 福田 崇	スポーツ傷害に関する基本的な身体特性の評価、受傷機転の解析、予防法について、実習を通して理解を深め、スポーツ医学に関する基本的な能力を養う。この実習により、スポーツ医学(外科系)の基礎的な実験手法などを身につけることを目標とする。スポーツ傷害に関する基本的な身体の評価方法について学ぶことで、受講生がテーマを決定し、研究計画を立てることが出来るようにする。	対面式授業など従来の 形式で夏季休業中・秋 ABCに集中などで開設 する(応談)。 AT必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP410	アスレティックコンディショニング論特講	1	2.0	1	秋AB	月5.6	5C302	竹村 雅裕, 白木仁, 久賀 圭祐, 向井 直樹, 渡部 厚一, 福田 崇, 金森 章浩	競技力向上を目的としたスポーツ傷害予防やコンディショニングの課題と方法論を多面的に解説する。	01EH237と同一。 AT必修科目
OATP411	アスレティックリハビリテーション論特講	1	2.0	1	春AB	月5.6	5C317	白木 仁, 向井 直樹, 竹村 雅裕, 福田 崇, 金森 章浩	スポーツ選手が傷害から復帰するために必要なリハビリテーションの基本を学習する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 01EH238と同一。 AT必修科目
OATP412	アスレティックトレーナー特講	1	1.0	1・2	秋B	集中		白木 仁, 竹村 雅裕, 福田 崇	アスレティックトレーナーの現状を把握し、現在まで発展してきた経緯と遺産を理解する。歴史的背景からみたアスレティックトレーナー成り立ちや現代社会における特徴をまとめ、その将来を展望する能力を養う。	01EH563と同一。 AT必修科目
OATP413	テーピング・マッサージ実習	3	2.0	1・2	秋AB	集中		白木 仁, 竹村 雅裕, 福田 崇	テーピング及びマッサージを実施する上での運動学的、解剖学的、生理学的な基礎知識や方法について解説しながら、実習を行う。実習はベーシックとアドバンスの2つに分かれて実施する。	AT必修科目
OATP414	スポーツ内科学特講	1	2.0	1・2	秋C	集中		渡部 厚一, 向井 直樹	スポーツ現場で頻繁に認められる内科的疾患について、診断・治療・予防法の概要を解説するとともに、スポーツ種目別の特徴、ヘルスプロモーションの視点としてのチームマネジメントとの関連性について事例を挙げ、ディスカッションを行う。具体的テーマとして、心臓突然死とメディカルチェック、スポーツ貧血、運動誘発喘息とアナフィラキシー、インフルエンザやノロウイルス等の感染症対策、過換気症候群、熱中症と低体温症、内科的コンディション評価とオーバートレーニングなどを取り上げる。	西暦偶数年度開講。 01EH573と同一。 AT必修科目
OATP415	アスレティックコンディショニング論演習	2	3.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		竹村 雅裕, 白木仁, 向井 直樹, 福田 崇	競技力向上を目的としたコンディショニングやトレーニングを実施し、パフォーマンスに関わるスポーツ傷害予防やコンディショニングの方法についてグループで実習を行う。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 01EH235と同一。 AT必修科目
OATP416	アスレティックリハビリテーション論演習	2	3.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		白木 仁, 向井 直樹, 竹村 雅裕, 福田 崇	スポーツ傷害からの早期復帰に必要な知識を駆使して、アスレティックリハビリテーションプログラムを作成できるようになる。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 01EH236と同一。 AT必修科目
OATP417	アスレティックコンディショニング論実習	3	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		竹村 雅裕, 白木仁, 向井 直樹, 金森 章浩, 福田 崇	アスレティックコンディショニング論特講・演習で身に着けた知識・手段・方法・技術を実践を通じて確認をする。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 AT必修科目
OATP418	アスレティックリハビリテーション論実習	3	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		白木 仁, 向井 直樹, 竹村 雅裕, 福田 崇	アスレティックリハビリテーション論特講・演習で身に着けた知識・技術・プロセスを実際に体験して学習する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 AT必修科目
OATP419	アスレティックトレーナー演習	2	1.0	1・2	秋C	集中		白木 仁, 竹村 雅裕, 福田 崇	アスレティックトレーナーの組織的将来展望についての知見を習得することを目的として、アスレティックトレーナーとしての役割、資質、養成、教育、競技力への貢献、社会的貢献に関する文献的検討を演習形式で行う。更に、アスレティックトレーナーのアマスポーツ(学校における授業や部活動、地域スポーツクラブなど)での役割、プロスポーツ(ナショナルレベル、インターナショナルレベル)での役割に関する文献的検討も行う。	01EH572と同一。 AT必修科目
OATP431	アスレティックコンディショニングインターンシップ春	3	1.0	1・2	春C 夏季休業中	随時		インターンシップ担当教員	春学期から夏季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、医療機関、スポーツや健康に関連する企業や研究所など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	manabaを用いて夏季休業中に開講する。 01EH579と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP432	アスレティックコンディショニングインターンシップ秋	3	1.0	1	秋C春季休業中	随時		インターンシップ担当教員	秋学期から春季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、医療機関、スポーツや健康に関連する企業や研究所など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	01EH580と同一。
OATP501	コーチングのバイオメカニクス	1	1.0	1	秋AB	月3	5C513	榎本 靖士、藤井 範久	スポーツの技術やトレーニングを考えるための基礎となるバイオメカニクスの諸原則、動作の改善ループの考え方とその応用法、バイオメカニクスデータの解釈などについて解説し、これらの知識を動作の改善に活用するための基礎的能力を身につけることを学習目標とする。具体的には、スポーツ技術のバイオメカニクスのとらえ方、力学的エネルギー・効率・有効性指数の算出法の解説、選手の動きを評価・診断・改善するためのバイオメカニクスの知識の重要性の解説などを通して、客観的知識を基礎とするコーチングについて学習させる。	01EH604と同一。
OATP503	コーチング論(事例討議)	1	1.0	1	秋AB	月5	5C307	前村 公彦、河合 季信	コーチには、当該スポーツ競技/種目の技術・戦術、トレーニングの指導だけでなく、トレーニング環境を整備したり、多様なステークホルダーと連携し目標を達成していくための能力も求められる。また、その前提となる「コーチング哲学」をどのように構築することも重要である。本講義では、コーチング現場で活躍中のコーチを招いて、コーチング実践の場における現状と課題を知り、それらをもとに学生相互で討議することによって将来のコーチングに資する実践知の獲得をめざす。	01EH622と同一。
OATP504	身体技法論	1	1.0	1	秋AB	月4	第1多目的道場	長谷川 聖修	目標:気功、呼吸法、武術、整体法、体操、ボディワーク等の身体技法について理解し、それらと体育やスポーツとの関係や意味について、個々の身体技法として活用する方法を知る。 授業計画:東洋の身体知(embodied wisdom)に対し、西洋の身体知ともいうべきソマティクス(Somatics-身体を内側から捉える理論)の臨床的実践技法であるボディワークをテーマに、その理論的背景を学びながら、技術(art)の習得を図る。体験的解剖学に基盤つき、基本的な身体の構造や機能を学びながら、実際に動き(movement)、触れ(touch)、声を出し(vocalization)、身体の経験や気づきを言語化し(verbalization)討議を加える。前半は骨格系、後半は内臓を中心に取り上げる。	
OATP505	身体表現論	1	1.0	1・2	春AB	火2	5C307	寺山 由美	<私>にとって身体とは何かを問うことを通じて、「身体表現」について考察する。自らの「身体表現」と他者の「身体表現」の違いを捉え、私たちがどのようにコミュニケーションを成立させているのかを検討する。特に、ダンスの場面における事例を取り上げ、「身体表現」の特性について考える。また、身体を持つ力に着目し、「身体表現」という括りでダンスとスポーツを捉えることで、体育・スポーツ学を多角的に検討することを試みる。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH625と同一。
OATP506	スポーツ運動学	1	1.0	1	春AB	木2	5C508	佐野 淳	発生運動学としてのスポーツ運動学の学問成立の経緯、基本概念、運動の分析法を講義して、運動の実践現場および研究においてもつスポーツ運動学の意義、価値の理解を深める。具体的には、体育・スポーツ領域において使われている運動の概念についての整理、運動をケシュタルト(運動ケシュタルト)として認識することの重要性、現場において取り上げられる動きの質の問題、実際の動きを取り上げる際に重要になる生命的な時空間の問題、そして、「できる」ということを考える際に不可欠な身体知の問題、その「できる」を支える「動感」の問題、動きの意味と価値の問題、スポーツ運動学と現象学の関係、などについて講義する。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。 01EH623と同一。 AT必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP507	武道文化論	1	1.0	1・2	秋AB	水2	5C513	酒井 利信	武道は日本で発祥し、長い歴史の中で宗教や芸能など様々な文化と交流をもちつつ独自の運動文化として成立したものである。そのユニークさゆえに海外ではジャパノロジー(日本学、日本研究)の対象ともなっている。世界で日本人がリーダーシップを取っていきける数少ない領域であり、将来国際社会で活躍する者にとって必須の学習課題である。近年、日本刀ブームであるが、刀剣は単なる武器ではなく古来神聖なものとして扱われてきており、実に深淵な思想体系を有している。本講義は、武道文化の中でも刀剣の思想に焦点を当て、最新の研究成果をテキストとし、PBL(Problem Based Learning)方式で学習・議論を重ねていく。	01EH405と同一。
OATP510	体操コーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	金3	体操場	長谷川 聖修, 本谷 聡	目標:体操についての国内外の映像資料や文献を調査し、本領域特性を理解するとともに、各種のねらいや対象に応じた体操の実践力と指導力を身に付ける。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)
OATP511	体操競技コーチング総合演習	2	1.0	1	秋AB	金3	体操競技場	金谷 麻理子	体操競技および器械運動に関する国内外の文献講読と実習を行い、それぞれの種目の基本技の技術と指導方法、安全に関する配慮などについて理解する。器械運動の内容に関しては、マット運動、とび箱運動、平均台運動、鉄棒運動の基本的な技を身に着けるとともに、効果的に指導する方法を学習する。また、体操競技の内容については、男子6種目(ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒)、女子4種目(ゆか、平均台、段違い平行棒、跳馬)のそれぞれについて種目特性を理解するとともに実習を通して基本技術と指導法を学習し、専門家として必要な資質を身に着ける。	
OATP512	陸上競技コーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	金5	5C411	大山 卞 圭悟, 木越 清信	陸上競技の技術、トレーニング、指導法について、国内外の文献をもとにして、体育的側面及び競技的側面から有効なコーチングへの手がかりを検討する。	
OATP513	水泳競技コーチング総合演習	2	1.0	1	秋AB	木3	屋内プール	仙石 泰雄	水泳競技(競泳・水球・シンクロ・飛込み)に関するバイオメカニクスのおよび運動生理学的な測定手法を学習し、実験プロトコルを作成した上で各種測定を実施し、正確にデータを収集する能力の獲得を目指す。また、実験で得られたデータの分析方法も学習し、測定データを正しく解釈する能力の獲得を目指す。	
OATP514	バレーボールコーチング総合演習	2	1.0	1	秋AB	木3	5C514	中西 康己, 秋山 央	国内外の専門文献や研究書を講読し、バレーボールのルール、競技特性、発達史、基本的な技術と応用技術、基本的戦術とその発展、バレーボール競技者に必要な体力要素、競技力を向上させるための指導の方法などについて学習する。演習を通して、バレーボールのコーチとしての基礎的資質を高める。	
OATP515	バスケットボールコーチング総合演習	2	1.0	1・2	春AB	木3	5C504	内山 治樹	バスケットボールの複雑な競技特性に言及する、1)吉井四郎(1985)バスケットボール指導全書(全3巻、大修館書店)、2)ウドゥン(2000)UCLAバスケットボール(武井光彦監訳・内山治樹他訳、大修館書店)、3)Krause, J. and Pim, R. L. (ed.) (1994) Coaching basketball, Contemporary Books、4)Weineck, J. und Haas, H(1999)Optimales Basketballtraining, Spitta Verlag など、日英独の代表的な古典といふべき文献の精読を通じて、コーチングの前提要件たる理論知の獲得を図る。併せて、実際のコーチング場面で直面する諸問題を解決するための方策について発表・討議することで、バスケットボール競技のコーチングに関わる基礎的な課題についての理解を深める。	
OATP516	ハンドボールコーチング総合演習	2	1.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		會田 宏, 藤本 元, 山田 永子	ハンドボールのコーチング実践に必要な理論の学習とコーチング実践活動を通して、さまざまな問題に対処できる専門的な指導力を身につける。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP517	サッカーコーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	金4	5C513	中山 雅雄	演習形式でサッカーのコーチングに関わる理論の理解を深めると同時に、コーチングの実践を通してサッカーコーチとしての能力を高める。授業の前半は主に講義形式で「サッカーの構造」「プレーの原則」「タレント発掘」「サッカーのコーチング」等について整理する。その後、各自でコーチングプランを作成し、受講者間でそのプランを洗練する作業をおこなう。後半ではそのプランに基づきコーチング実践と省察によって自身のコーチング能力を改善する。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH650と同一。
OATP518	ラグビーコーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	木3	5C402	嶋崎 達也	授業は演習形式とし、ラグビーコーチングの現場で直面する様々な問題に対して、その対処法や考え方について学び、各自の指導論・指導法を構築していくことを目的とする。授業の前半ではラグビーのコーチングに必要な理論(指導法、ゲーム分析の視点、パフォーマンス評価、スカウティングなど)を学習した後、後半から各自で設定したテーマに対するコーチングの実践活動を行い、コーチとしての指導力の向上を図るものとする。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)
OATP519	テニスコーチング総合演習	2	1.0	1	秋C	水1,2	5C413	三橋 大輔	国内外の専門文献や研究書を講読し、テニスのルール、競技特性、発達史、基本的な技術と応用技術、基本的戦術とその発展、バレーボール競技者に必要な体力要素、ストローク、ボレー、サービス動作の技術指導のやりかた、競技力を向上させるための指導の方法などについて学習する。演習を通して、テニスのコーチとしての基礎的資質を高める。	
OATP520	バドミントンコーチング総合演習	2	1.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		吹田 真士	国内外の専門文献や研究書を講読し、バドミントンのルール、競技特性、発達史、基本的な技術と応用技術、基本的戦術とその発展、バドミントン競技者に必要な体力要素、ストローク、ボレー、サービス動作の技術指導のやりかた、競技力を向上させるための指導の方法などについて学習する。演習を通して、バドミントンのコーチとしての基礎的資質を高める。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。
OATP521	野球コーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	火4	5C412	川村 卓, 奈良 隆章	野球のコーチングに関して、チームのリクルート、マネジメントの仕方及び戦略、戦術、戦法、試合の進め方、投球および打撃動作の観察方法、さらには走塁および守備の考え方、改善方法、チーム練習方法、年代別の課題などに焦点を当て、新たな考え方に関して討論し、提案していくことで、野球の指導者としての資質を高める。	専門的な内容になるので、野球経験者に限る。
OATP522	柔道コーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	火4	柔道場	岡田 弘隆, 増地 克之	柔道における技の分類について説明し、理解させる。投技(手技16本、腰技10本、足技21本、真捨身技5本、横捨身技16本)、固技(抑込技10本、絞技12本、関節技10本)全般について実習するとともに、併せてその指導法についても学び、実践する。柔道のすべての技についてその理合を説明し、それを理解させた上で実践させるとともに、効果的な指導法について、各自で考えさせた上で必要に応じて補足説明を行い、実践させる。それにより、柔道の指導者としての基礎的資質を高めることを目的とする。	
OATP523	剣道コーチング総合演習	2	1.0	1	秋AB	金4	5C502	香田 郡秀, 鍋山 隆弘, 有田 祐二	剣道の試合・審判規則について学習し、審判の理論と実践能力を高める。	
OATP524	弓道コーチング総合演習	2	1.0	1	秋AB	火3	弓道場	松尾 牧則	日本の伝統的運動文化としての「弓道」の特性を理解するとともに、弓道指導における基礎・基本となる「基本体(基本の姿勢・基本の動作)」「射法八節」についてその理論学習と実践を通じて弓道コーチングの実際を学習する。「基本の姿勢」「基本の動作」を合わせた「基本体」を正しく身につける。また、弓射の基本法則である「射法八節」の理論を理解し、正しく身につけて実践する。また初級者への示範・指導ができるようにする。対象に応じた指導法を理解し、安全かつ効果的に学習できる指導法を理解・習得する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP525	舞踊指導総合演習	2	1.0	1	秋AB	金4	ダンス場	寺山 由美	舞踊(ダンス)教育における内容の中でも表現・創作ダンス(モダンダンス)とリズム系ダンスを中心に、各々の特性と技法、指導法、上演に関する理解を深めるとともに、実習を通して基礎的、応用的な能力を養う。舞踊における身体、イメージ、リズム、動きの関係について、多様なテーマ(課題)から即興的に表現・創作するとともに、舞台に向けたダンス作品を創作、上演する。自らの踊る力を養成すると共に、どのように学習者の実態を捉えた指導法についても学んでいく。	
OATP526	スポーツコーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	火4	5C504	前村 公彦, 松元剛, 河合 季信, 谷川 聡, 木内 敦詞	個別研究領域に含まれていないスポーツ競技/種目を専門とする学生を対象に、種目横断的にその指導法についての理論や指導実践を学び、望ましいコーチング及びトレーニングの在り方を探求する。各教員の専門スポーツ競技/種目におけるコーチング実践の知、またその背景となる科学的知見を手がかりにして、自身の専門スポーツ競技/種目における先行研究の調査、コーチング実践などを行う。	研究領域に含まれているスポーツ種目を専門とする学生は、受講できない。Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)01EH659と同一。
OATP530	コーチングインターンシップ春	3	1.0	1・2	春C夏季休業中	随時		インターンシップ担当教員	春学期から夏季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、プロスポーツクラブ、学校における授業や部活動、スポーツ施設など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	manabaを用いて夏季休業中に開講する。
OATP531	コーチングインターンシップ秋	3	1.0	1	秋C春季休業中	随時		インターンシップ担当教員	秋学期から春季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、プロスポーツクラブ、学校における授業や部活動、スポーツ施設など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	01EH673と同一。
OATP540	競技マネジメント論	1	1.0	1	秋A	集中		尾縣 貢, 山口 香, 高橋 義雄	国内外のスポーツ競技団体、スポーツリーグ組織、スポーツクラブ・チームを対象にマネジメントの視点から検討し、スポーツ関係組織・機構の経営に関する基本的な知見を学習するとともに、当該領域における当面の問題を明らかにし、基本的研究課題を理解する。	教室:5C108 01EH676と同一。 10/17, 11/7
OATP541	舞踊上演マネジメント論	1	1.0	1	春AB	水2	5C618	平山 素子	舞踊公演やイベントの企画・運営を取り扱い、過去に行われた舞踊公演の例に、実情や問題点を検証する。また、現在、活発に行われている舞踊公演の仕組みや、様々な形態のイベントについての学ぶ。さらに、独自のイベントを企画・運営するための知識として、イベントに関わる経済的問題、様々な助成制度とその活用方法を学ぶ。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)01EH677と同一。
OATP542	スポーツ情報戦略論	1	1.0	1	秋AB	火5	5C307	河合 季信	競技スポーツにおいて、情報をどのように活かすかが競技パフォーマンスに大きく影響する。競技スポーツにおける「情報」とは、単に自チームやライバル/相手チームのスカウティング情報だけでなく、ルールや人事に関する情報、マテリアルやテクノロジーに関する情報などの競技を取り巻く情報、さらには経済や社会の環境変化に関するより広い視点での情報も競技パフォーマンスに関係している。これらの情報を戦略にマッチさせながら、どのようにマネジメントするかについて、実践知をもとに体系的に学ぶ。	
OATP631	プログラム特別インターンシップ春	3	3.0	1・2	春C夏季休業中	随時		インターンシップ担当教員	春学期から夏季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、日本代表、プロスポーツクラブ、地域スポーツクラブなど)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	01EH710と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP632	プログラム特別インターンシップ秋	3	3.0	1	秋C春季休業中	随時		インターンシップ担当教員	秋学期から春季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、日本代表、プロスポーツクラブ、地域スポーツクラブなど)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	
OATP642	高度スポーツ指導者の英語会話	2	3.0	1	秋C 春AB秋ABC	集中 木3	5C604			
OATP643	日本文化論(宗教、思想、古典芸能など)	1	1.0	1	通年	集中		酒井 利信	スポーツ界のリーダーとして世界で活躍するためには、グローバル化社会における自文化のオリジナリティーを自覚することも必要である。こういった考えのもと、日本文化論として宗教、思想、古典芸能などを取り上げ、フィールドワークも含めつつ学習し、日本文化の粋を理解する。 本授業では特に宗教の中でも日本古来の民俗信仰であるところの神道に焦点をあて、武神タケミカヅチを祀る鹿島神宮と霊峰筑波山に鎮座する筑波山神社におけるフィールドワークを含めながら、両神宮・神社の宮司に特別にお願いをしてレクチャーをしていただく。	
OATP644	高度スポーツ指導者の実践英語演習	2	1.0	2	春C	集中			To plan and conduct sport activities in English during Tsukuba Summer Institute and other events	
OATP7A1	体育・スポーツ哲学演習I	2	3.0	1	通年	随時		坂本 拓弥, 深澤 浩洋	体育哲学およびスポーツ哲学における研究方法について理解を深め、文章の解釈力や洞察力の涵養を目指す。併せて、修士論文のテーマを掘り下げ、研究計画として結実させる。関連文献の講読を行い、問題設定の仕方や研究方法論についての理解を深める。 演習の前半では、体育・スポーツ哲学の基礎的な文献を講読する。選定する文献は、受講者の研究テーマに基づいて定めるが、形而上学、実践学、倫理学、美学などの大枠に沿ったものとする。 後半では、受講者の研究テーマに対して、先行研究に当たる文献のテキストクリティークを行う。	01EH151と同一。
OATP7A2	体育・スポーツ哲学演習II	2	3.0	2	通年	随時		深澤 浩洋	体育哲学およびスポーツ哲学に関連する研究課題、問題群における理路や問題の背景等を理解し、受講者自身の問題意識を掘り下げ明確化することを目指す。 文献(論文や著書)のうち、受講者の研究テーマに関連するものについて、概要をまとめ、報告・議論を行う。それとともに、受講者自身のリサーチクエストとそれを解決する方法を探り、その方法に則って思索を深め、論じてゆく。 また、受講者同士でディスカッションを行い、説明力ならびに質問力を養う。	01EH152と同一。
OATP7B1	体育史・スポーツ人類学演習I	2	3.0	1	春C 春AB秋AB	集中 火5		大熊 燦雨, 山口 拓	自身の研究したいテーマに基づき、体育・スポーツ史およびスポーツ人類学(スポーツ国際開発学会含む)に関する論文を以下の学術雑誌あるいは学術書「スポーツ人類学研究(スポーツ人類学会機関誌)、スポーツ史研究(スポーツ史学会機関誌)、体育史研究(体育史学会機関誌)、体育学研究(日本体育学会機関誌)」から選び、その研究論文の内容、研究方法について検討する。 研究方法については、史料批判を含め文献研究の方法論について検討する。また特定の地域のスポーツ文化に関する参与観察の方法論についても考察し、それらについて発表してディスカッションする。より良い発表の方法についても修得する。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH105と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP7B2	体育史・スポーツ人類学演習Ⅰ	2	3.0	2	通年	随時		山口 拓,大熊 燦 雨	自身の修士論文のテーマを意識して、それに関連する体育・スポーツ史、スポーツ人類学およびスポーツ国際開発学に関する論文を外国の学術雑誌や学術書から選び、その研究方法と論文の構成について検討する。諸外国の学術雑誌は主に「International Journal of Sport History」、「Journal of Sport for Development」の中から選択する。 これらを先行研究とし、その批判的なまとめを各自が作成して発表し、ディスカッションする。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH154と同一。
OATP7C1	スポーツ社会学演習Ⅰ	2	3.0	1	通年	随時		清水 諭	スポーツ社会学に関する専門文献、研究論文の講読を、スポーツ社会学を研究するための基本的能力を身に着ける。スポーツ、体育、舞踊そして伝統スポーツにおける身体史と政治権力についての文献資料を用いる。また、フィールドワークを通して、スポーツ社会学の基本的な研究能力を向上させる。	01EH111と同一。
OATP7C2	スポーツ社会学演習Ⅱ	2	3.0	2	通年	随時		清水 諭	社会学の理論を基礎にしながら、スポーツ社会学を研究するための研究方法論について学習し、論文執筆を自主的、自立的に行っていく。その際、学生や教員との議論を繰り返し、応答の中で、自らの立ち位置と思考を深めていく。こうした演習を通して、研究力を向上させ、論文執筆を行う	01EH156と同一。
OATP7D1	武道学演習Ⅰ	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	水1 集中	5C411	酒井 利信	武道学全体を鳥瞰的に把握し、武道史・武道思想に関する先行研究を精読することにより、武道学における新たな問題を設定して修士論文のテーマを決める。 具体的には中林信二『武道のすすめ』、源了圓『文化と人間形成』、相良亨『武士の思想』、寒川恒夫『日本武道と東洋思想』、前林清和『武道における身体と心』、酒井利信『刀剣の歴史と思想』などの研究成果に加え、日本武道学会発刊の『武道学研究』所収論文を精読し、武道学全体の動向を把握した上で、自らの問題意識を明確にする。	
OATP7D2	武道学演習Ⅱ	2	3.0	2	通年	随時		酒井 利信	武道史・武道思想に関する先行研究を精読することにより、武道学領域における研究方法論を学び、自らの修士論文テーマに適した方法論を確立する。 具体的には、中林信二『武道論考』、前林清和『近世日本武芸思想の研究』、酒井利信『刀剣の日本精神史的研究』、酒井利信編『武道研究の道標』『武道研究の最前線』などに加え、日本武道学会発刊の『武道学研究』所収論文を精読し、文献学手法を学ぶ。特に事例の収集の仕方および分類方法、さらに行間の読み方を身につける。	
OATP7E1	体育・スポーツ経営学演習Ⅰ	2	3.0	1	春AB 秋AB	金3,4 金3	5C403	清水 紀宏	体育・スポーツ経営学に関する内外(外国は主にアメリカ合衆国を中心に)の文献を購読しながら、経営理論の動向及び方向性を検討する。 学校体育・大学スポーツのマネジメント、地域・コミュニティスポーツのマネジメント、スポーツマネジメントの研究手法に関する文献を中心にレビューし、わが国のスポーツ経営との比較考察を行う。 スポーツビジネス、プロスポーツ、スポーツマーケティングに関連する文献を中心にレビューし、海外におけるスポーツビジネスの変遷やトレンドを把握するとともに、今後の発展性について議論する。	
OATP7E2	体育・スポーツ経営学演習Ⅱ	2	3.0	2	通年	随時		清水 紀宏	体育・スポーツ経営をめぐるトピックスや具体的な経営課題を取り上げ、関連する文献や論文を収集するとともに、研究の視点や課題解決の方法について議論し、研究論文としてまとめる。 地域スポーツ、民間スポーツ施設、プロスポーツをめぐるマネジメント課題を特定化し、その課題に関する先行研究や資料を収集し研究課題や研究方法について議論する。 学校体育(主に運動部活動と教科体育)のマネジメント課題が、時々々の学習指導要領の改訂に伴ってどのように変容してきたのかを、文献に基づいて議論する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP7F1	スポーツ政策学演習Ⅰ	2	3.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		齋藤 健司, 成瀬和弥	国内及び国外のスポーツ政策及びスポーツ政策研究に関する動向について調査検討し、スポーツ政策の実務的な課題を理解するとともに、スポーツ政策学に関する内外の文献を購読し理論的な認識を深める。スポーツ政策に関する特定の調査研究課題を議論し、決定した後、各自の課題に関して報告発表を行い、全体で議論する。また、関連する文献を選定し、概要をまとめ報告し、全体で当該文献の理論の検討及び批判を行い、議論する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 01EH163と同一。
OATP7F2	スポーツ政策学演習Ⅱ	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		齋藤 健司, 成瀬和弥	スポーツ政策に関する各自の研究テーマに関する文献及び資料の収集・批判及び検討、研究方法論及び分析の枠組みの検討を行い、実際の調査研究の成果を発表し、議論を深める。まず、研究テーマに関する先行研究の検討、援用する研究方法・理論のレビューを行い、分析の枠組みとして応用可能か議論する。また、実際に選定した方法論に基づき、研究テーマに関する調査内容を発表し、議論する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 01EH164と同一。
OATP7F3	スポーツ法学演習	2	2.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		齋藤 健司	国内及び国外のスポーツ法に関する動向を調査検討し、現状の認識を深めるとともに、スポーツ法学に関する文献資料を購読し、研究の方法や理論に関する理解を深める。スポーツ法に関する動向についていくつかのトピックを紹介する。スポーツ法学に関する国内外の基本的な文献および資料の中から課題を選定し、報告発表を行い、全体で議論する。さらに、課題と関連する法学文献の理論内容を検討する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 01EH126と同一。
OATP7G1	スポーツ産業学演習Ⅰ	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	水1 水2,3	5C412	仲澤 眞, 嵯峨 寿	スポーツ産業研究に必要な理論や実務的な知見について学ぶとともに、当該領域の研究方法論について学習する。本授業はいずれの回においても複数指導体制(299 仲澤眞、257 嵯峨寿)で行い、主要先行研究の解説、主要な研究方法論の解説、研究計画の立案についての指導を通して、学位論文の作成に必要な基礎的な内容の習得を目的とする。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH128と同一。
OATP7G2	スポーツ産業学演習Ⅱ	2	3.0	2	通年	随時		仲澤 眞, 嵯峨 寿	スポーツ産業研究に必要な理論や実務的な知見について学ぶとともに、研究テーマの設定、仮説の設定、研究方法論の検討、研究倫理の手続き、研究の独自性・意義、学位論文の作成に必要な実践的な内容を習得することを目的とする。本授業はいずれの回においても複数指導体制(299 仲澤眞、257 嵯峨寿)で行う。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)
OATP7H1	体育科教育学演習Ⅰ	2	3.0	1	秋C 春AB秋ABC	集中 水3	5C212	長谷川 悦示, 佐藤貴弘	体育の教科論、カリキュラム論、学習指導論、教師教育論に関する内外の文献を講読し、体育授業の学習指導論並びにその研究方法論について理解する。また、学校での校内授業研究に参加して、体育授業を分析・省察する視点について実習する。さらに学生が教師・生徒役を担当する模擬授業を利用して、授業の計画立案・実行・分析・省察の過程を通して学生が授業を発達させていくことを検証する。授業では、模擬授業等で収集した組織的観察データや授業省察データを活用して、統計手法や質的分析によって結果をまとめたり、ゲームパフォーマンス分析のためにStudioCode等による分析方法についても学修する。春・秋学期に数回の学校での授業研究を参観する機会がある。授業分析の演習については、授業参観ごとに実施する計画である。秋C学期については、つづば模擬授業の授業計画立案を課題とする。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP7H2	体育科教育学演習II	2	3.0	2	通年	随時		長谷川 悦示	<p>体育科教育学の研究領域における学術論文を講読して、研究テーマの設定方法、先行研究のレビュー方法、研究における理論の選択、研究デザインの設定、データ収集の方法、データ分析の方法、結果のまとめ方、考察の進め方、さらに結論の書き方を学修して、最終的な修士論文を完成させる能力を身につける。</p> <p>春学期においては、月曜日の午後の授業時間を基本として、毎週1回のゼミ形式で実施する。受講生は、研究論文を購読しながら、論文の背景となっている問題点と理論的な基盤を明確にして、研究デザインを具体的に構想する。研究方法に応じて数的データ並びに質的データの処理方法を決定して、修士論文研究に取り掛かる。秋学期においては、修士論文の進捗状況を随時、確認しながら、論文完成に向けて探求する。1ヶ月に1回程度、体育科教育学研究室での研究会(月曜17時から19時)において成果を発表して教員と所属学生からの意見交換を行う。</p>	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)
OATP7H3	体育授業観察分析演習	2	2.0	1	春AB	随時	5C212	長谷川 悦示	<p>体育授業の観察法に関する基礎的知識を習得する。また、実際の授業を計画立案して観察法を分析し、その活用方法について理解することを学修する。</p> <p>受講者はガイダンスにつづいて、数回の授業案検討会を行い、授業グループに分かれて教材研究、授業計画案を討議・作成し、模擬授業のリハーサルを行う。模擬授業は、筑波大学内体育施設(中央体育館等)で実施し、その後最終反省会を行う。</p> <p>また、受講者はe-Learning授業評価システムを活用して模擬授業動画を視聴しながら授業省察を学修することを最終課題として学修する。</p>	受講者は第1回オリエンテーション(4月13日(月)17時-5C212)に出席すること。Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)01EH170と同一。
OATP7J1	アダプテッド体育・スポーツ学演習I	2	3.0	1	春AB 秋ABC	月1,2 集中	球技体育館	齊藤 まゆみ, 澤江 幸則	<p>アダプテッド・スポーツ科学に関する文献を購読するとともに、アダプテッド・スポーツ現場を体験し、研究の動向と課題について議論する。</p>	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)01EH135と同一。
OATP7J2	アダプテッド体育・スポーツ学演習II	2	3.0	2	通年	随時		齊藤 まゆみ, 澤江 幸則	<p>アダプテッド・スポーツ科学に関する文献を購読するとともに、アダプテッド・スポーツ現場を体験し、研究の動向と課題について議論し、アダプテッド体育・スポーツ学についての論文指導を行う。</p>	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)01EH172と同一。
OATP7J3	アダプテッド体育・スポーツ指導理論実習	7	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		松原 豊, 杉山 文乃	<p>障がい者スポーツセンター、特別支援学校、児童福祉施設、地域の障がい者スポーツクラブなど、アダプテッド体育・スポーツの現場における具体的な実践を通して、プログラム作成や指導を学ぶ。</p>	アダプテッド体育・スポーツ学演習Iを履修済みの者に限る。対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。
OATP7K1	体育心理学演習I	2	3.0	1	秋C 春AB秋ABC	集中 火4		坂入 洋右, 國部 雅大	<p>体育心理学の研究法に関する講義と体験的学習を通して、スポーツ・体育心理学領域における研究の実際を知り、心理学的研究法に関する理解を深める。また、海外の文献を読んで実際の研究を理解し、各自の問題意識に基づいて研究計画を立てる。本演習を通して、スポーツ・体育心理学領域における諸問題を解決するための研究遂行能力の基礎を身につける。</p>	教室:5C311(心理実験実習室) 01EH137と同一。
OATP7K2	体育心理学演習II	2	3.0	2	通年	随時		坂入 洋右, 國部 雅大	<p>体育・スポーツ心理学関連の学術雑誌から関心のある掲載論文を受講生自身が探し出し、抄録を作成して発表し、研究課題等について討議する。本演習を通して、関連テーマの理解および研究論文作成の方法を学ぶ。また、修士論文作成に繋がるよう各自の研究課題を具体化し、実際に研究を遂行する取り組みを行う。</p>	01EH174と同一。
OATP7K3	体育心理学実習	3	2.0	1	春AB秋AB 通年	火5 集中		坂入 洋右, 國部 雅大	<p>スポーツにおけるセルフコントロール、性格の診断法、知覚運動学習の基本的実験研究法を、実践・実験実習、データ分析、発表、レポート作成を通して学ぶ。スポーツ・体育心理学領域における実験、調査、観察などの研究法、およびメンタルトレーニングなどの介入法を実践的に学ぶことを目標とする。</p>	教室:5C311(心理実験実習室)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP7M1	体育・スポーツ学特別演習	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		清水 紀宏	社会人特別選抜入学者で体育・スポーツ学分野の学生は、自身の所属する研究領域の演習IIの代わりに、この科目を履修することができる。スポーツに関する国内外の専門文献、研究資料などを講読し、それについてディスカッションを行う。スポーツに関する研究法について学習し、研究を遂行する上で必要な基本概念、手段、手順などについて学習し、基本的な研究力を身に着ける。自分自身のテーマを決定し、研究遂行するための基礎的能力を身に着ける。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。
OATP7M2	体育・スポーツ学特別演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		清水 紀宏	年度途中で修了する体育・スポーツ学分野の学生は、領域科目の個別研究領域の演習IIの代わりに、この科目を履修する。スポーツに関する国内外の専門文献、研究資料などの講読し、それについてディスカッションを行う。スポーツに関する研究法について学習し、研究を遂行する上で必要な基本概念、手段、手順などについて深く学習し、研究力を向上させる。関連分野の研究成果について議論を深め、修士学位論文を作成する。自分自身のテーマを決定し、研究遂行する。	年度途中で修了予定者のみ履修可。対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 01EH145と同一。
OATP8A1	健康教育学演習I	2	3.0	1	春AB秋ABC	応談		武田 文, 片岡 千恵, 門間 貴史	国内及び国外の健康教育に関する文献資料を購読することを通して、健康教育研究に関する動向を検討し、その理論や研究方法等の理解を深める。また、健康教育に関して、いくつかのトピックを紹介する。さらに、国内外の文献の中から課題を選定し、その報告・発表を行い、全体で議論する。本授業は、研究テーマの設定、仮説の設定、研究方法論の検討、研究倫理の手続き等、論文の作成に必要な基本的な内容を習得することを目的とする。本授業は複数指導体制(100 武田 文、441 片岡千恵、519 門間貴史)で行う。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH201と同一。
OATP8A2	健康教育学演習II	2	3.0	2	通年	随時		武田 文, 片岡 千恵, 門間 貴史	国内及び国外の健康教育に関する文献資料を購読することを通して、健康教育研究に関する動向を検討し、その理論や研究方法等の理解を深める。また、健康教育に関して、いくつかのトピックを紹介する。さらに、国内外の文献の中から課題を選定し、その報告・発表を行い、全体で議論を深める。本授業は、得られた結果の吟味、考察の論旨・構成等、論文の作成に必要な内容の理解を深め、実践的な能力を育成することを目的とする。本授業は複数指導体制(100 武田 文、441 片岡千恵、519 門間貴史)で行う。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH257と同一。
OATP8C1	運動生理学演習I	2	3.0	1	春AB 秋AB	火2 火1,2	5C504	西保 岳, 武政 徹, 藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環系の下記のキーワードに関連した最新情報を理解するために、研究論文等の議論や発表を行う。1年次対象である。 骨格筋系のキーワード:分子運動生理学、筋肥大、筋持久力増強、筋萎縮、サプリメント、ヒトの実験系、動物実験系、培養骨格筋細胞、初代培養細胞、ミュータント、遺伝子、転写産物、蛋白質、シグナルカスケード 呼吸循環系のキーワード:運動トレーニングによる呼吸循環系の適応、暑熱と低酸素に対する適応、水分調節	01EH207と同一。
OATP8C2	運動生理学演習II	2	3.0	2	通年	随時		西保 岳, 武政 徹, 藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環系の下記のキーワードに関連した最新情報を理解するために、英文研究論文等の議論や発表を行う。 骨格筋系のキーワード:分子運動生理学、筋肥大、筋持久力増強、筋萎縮、サプリメント、ヒトの実験系、動物実験系、培養骨格筋細胞、初代培養細胞、ミュータント、遺伝子、転写産物、蛋白質、シグナルカスケード 呼吸循環系のキーワード:運動トレーニングによる呼吸循環系の適応、暑熱と低酸素に対する適応、水分調節	
OATP8D1	運動生化学演習I	2	3.0	1	秋C 春AB秋ABC	集中 金6	5C412	征矢 英昭, 大森 肇, 岡本 正洋, 松井 崇	演習。運動生化学に関する国内外の専門書、文献、研究論文等を講読し、運動生化学の対象領域、基本概念、研究方法などを学習することによって研究に必要な基礎的能力を身に着ける。運動が身心に及ぼす影響とトレーニング効果に関して運動生化学の立場から理解を深め、健康や運動パフォーマンスの維持・増進のメカニズムを理解する。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH212と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP8D2	運動生化学演習II	2	3.0	2	通年	随時		征矢 英昭, 大森 肇, 岡本 正洋, 松井 崇	演習。運動生化学に関する国内外の専門書、文献、研究論文等を講読し、運動生化学の対象領域、基本概念、研究方法などを学習することによって研究に必要な能力を向上させる。運動が身心に及ぼす影響とトレーニング効果に関して運動生化学の立場から理解を深め、健康や運動パフォーマンスの維持・増進のメカニズムを理解する。研究力を向上させ、修士論文を作成できるようにする。	
OATP8E1	運動栄養学演習I	2	3.0	1	春AB秋ABC	月4月1,2	5C117	麻見 直美, 下山 寛之	競技力を高めるための、および健康の維持増進のための食事とトレーニング、睡眠(休養)の組み立て方を理解するために、栄養(食生活)、身体活動(運動)・トレーニング、休養(睡眠)をメインkey wordsとする基礎研究で、主にエネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、たんぱく質代謝、骨代謝・カルシウム代謝、カルシウム以外のミネラル代謝、水分代謝に関連するスポーツ・運動栄養学領域の主に英語を使用言語とする最近の総説、原著論文等を精読し、その内容について議論する。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)01EH216と同一。
OATP8E2	運動栄養学演習II	2	3.0	2	秋A秋B秋C 夏季休業中	応談		麻見 直美	競技力を高めるための、および健康の維持増進のための食事とトレーニング、睡眠(休養)の組み立て方とその実践法について学ぶために、栄養(食生活)、身体活動(運動)・トレーニング、休養(睡眠)をメインkey wordsとし、エネルギー補給法、Female Athlete Triadの予防・改善、貧血予防・改善、からだづくり、熱中症・脱水対策、体力・持久力の向上、食育・食生活改善に関連する実践的研究で、主に英語を使用言語とする最近の総説、原著論文等を精読し、その内容について議論する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開講する(応談)。01EH265と同一。
OATP8F1	体力学演習I	2	3.0	1	通年	随時		鍋倉 賢治, 木塚 朝博, 小野 誠司, 榎本 靖士	体力科学、体力・運動能力、体力トレーニング、運動遊びなどに関する国内外の学術論文、解説、著書、マニュアルなどを参考に、体力学領域における文献研究、研究計画、研究方法について演習する。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。
OATP8F2	体力学演習II	2	3.0	2	通年	随時		木塚 朝博, 鍋倉 賢治, 小野 誠司, 榎本 靖士	体育科学に関する内外の学術論文を題材に討議を行い、体力学領域における科学的知見に関わる情報を収集し、文献研究の方法について演習する。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。
OATP8G1	健康増進学演習I	2	3.0	1	秋C 春AB秋ABC	集中火6	5C502	大藏 倫博	人体の形態、運動機能、体力・運動能力等の発達・加齢変化に関する測定評価法、トレーニング法、統計解析法などに関する内外の文献を討議する。学習目標は、健康、体力の維持、増進に及ぼす運動の効果、加齢の影響などに関する国内外の文献を討議し、同時に修士論文の研究手法、内容について理解を深める。第1回~10回は成人を対象とした健康・体力に関する論文抄読、第11回~20回は運動と健康・体力に関する論文抄読、第21回~30回は身体活動と健康・体力に関する論文抄読をおこなう。	manabaを用いて夏季休業中に開講する。01EH223と同一。
OATP8G2	健康増進学演習II	2	3.0	2	通年	随時		大藏 倫博	修士論文作成における当該分野の関連知識と方法を修得する。学習目標は、健康、体力の維持、増進に及ぼす運動の効果、加齢の影響などに関する国内外の文献を討議し、同時に修士論文の研究手法、内容について理解を深める。第1回~10回は成人を対象とした健康・体力に関する論文抄読、第11回~20回は運動と健康・体力に関する論文抄読、第21回~30回は身体活動と健康・体力に関する論文抄読をおこなう。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)01EH269と同一。
OATP8H1	体育測定評価学演習I	2	3.0	1	秋A秋B秋C 夏季休業中	応談		西嶋 尚彦	目標:運動能力の研究に関する基礎的および先端的な科学研究の方法を理解し修得する。 授業計画の概要:達成度評価のテスト理論と尺度構成手続きを理解する。運動能力の測定方法を理解する。運動能力の測定モデルの理論を理解する。実技テストで測定できない動作技能や戦術技能を測定対象として、構成概念の測定モデルを想定して、測定項目を構成する。測定を実施する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開講する(応談)。01EH270と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP8H2	体育測定評価学演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		西嶋 尚彦	目標:運動能力に関する実際の研究データの分析を通して、基礎的および先端的な研究方法を実践する。 授業計画の概要:測定されたデータからデータセットを作成し、データチェックし、欠損値を処理して、記述統計量を分析する。相関行列を算出して、多変量統計解析により、尺度特性を分析する。従属変数と独立変数から、平均値構造から要因の効果を測定する。論文を参照して、方法と結果を記述する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。01EH271と同一。
OATP8J1	内科系スポーツ医学演習I	2	3.0	1	通年	木5		前田 清司, 渡部 厚一, 中田 由夫	内科系スポーツ医学領域に関連する英語文献(研究論文)を抄読・紹介し、研究の背景、研究目的、研究方法、研究結果、研究結果の解釈、考察などについて討議することで、内科系スポーツ医学領域の研究についての基礎的な理解を深める。また、内科系スポーツ医学領域の研究論文を抄読・紹介することで、研究に関連する新たな情報を得ることも目標とする。さらに、英文論文を抄読・紹介することにより、英語力の向上を目指すとともに、英文論文の構成の基礎などについても学ぶ。	教室:総合研究棟D115 01EH227と同一。
OATP8J2	内科系スポーツ医学演習II	2	3.0	2	通年	随時		前田 清司, 渡部 厚一, 中田 由夫	内科系スポーツ医学領域に関連する修士論文の作成に向けて、当該修士論文の研究に関する関連知識や研究方法論などを学習する。具体的には、修士論文の研究計画、研究の進捗状況、研究結果、研究結果の考察などについてプレゼンテーションを行い、これらについての討議を行う。これらのプロセスを経て、内科系スポーツ医学領域に関連した修士論文を作成することを目標とする。また、研究内容や研究結果などを伝えるプレゼンテーション能力や議論する能力についても身につけることを目指す。	01EH273と同一。
OATP8J3	スポーツ医学基礎論特講I	1	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		前田 清司, 渡部 厚一, 竹越 一博, 中田 由夫	スポーツ医学(内科系)の基礎として、健康の維持・増進および疾患の予防・治療における運動の効果について解説する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。01EH230と同一。
OATP8K1	外科系スポーツ医学演習I	2	3.0	1	通年	随時		白木 仁, 向井 直樹, 竹村 雅裕, 福田 崇	スポーツ医学(外科系)に関する文献を読み、基礎知識を学び、研究テーマの設定に向け、先行研究論文を読み、まとめる力をつける。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。01EH275と同一。
OATP8K2	外科系スポーツ医学演習II	2	3.0	2	通年	随時		白木 仁, 向井 直樹, 竹村 雅裕, 福田 崇	スポーツ医学(外科系)に関する文献を読み、専門的な知識を学び、修士論文執筆及び学会発表を進めるうえでの実践力を養う。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。01EH276と同一。
OATP8K3	スポーツ医学基礎論特講II	1	1.0	1・2	春AB	木1	5C404	向井 直樹, 金森 章浩	運動による運動器の変化について、骨組織の形態、骨代謝と軟骨代謝の生化学マーカー、軟部組織の3回に分けて解説する。いずれも自身や研究室で実験した結果を基にしており、運動負荷による変化をどのように把握できるかに重点を置いた構成としている。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)01EH239と同一。AT必修科目
OATP8M1	スポーツバイオメカニクス演習I	2	3.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		藤井 範久, 小池 関也	スポーツバイオメカニクスに関する国内外の文献を購読し、現在のスポーツバイオメカニクス分野の研究課題などについてディスカッションする。また、修士論文に関する実験・データ分析の進捗状況を学会形式で発表し、教員、同じ研究領域の大学院生とディスカッションを行うことで、研究を進めていく上での課題を明確にするとともに、スポーツバイオメカニクス領域に関する幅広い知見を身につけることを目標とする。	教室:SPEC(体育総合実験棟)対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。01EH242と同一。
OATP8M2	スポーツバイオメカニクス演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		藤井 範久, 小池 関也	修士論文作成に必要な国内外の文献を購読し、修士論文との関連性についてディスカッションする。データの分析結果に関する考察を学会形式で発表し、教員、同じ研究領域の大学院生とディスカッションを行うことで、できる限り客観的な考察を行う能力を身につけることを目標とする。また考察がまとまった段階においては、国内外の学会で研究発表を行い、学外のバイオメカニクス研究者からの意見についても積極的に取り入れるように指導する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。01EH278と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP8M3	スポーツバイオメカニクス実験	3	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		藤井 範久, 小池 関也	スポーツバイオメカニクスの研究手法、特に動作分析手法について実習するとともに、データのまとめ方を学習する。具体的には、高速度ビデオを用いた二次元および三次元動作解析、フォースプラットフォームを用いた地面反力測定を行う。次に、取得したデータをもとに、身体重心位置算出、関節角度算出などのキネマティクスの分析、関節トルクなどのキネティクスの分析をプログラミング言語MATLABを用いて行う。さらに得られたデータに対して考察を行い、分析結果について学会形式で発表を行い、ディスカッションを通してバイオメカニクスの研究手法の習得を目標とする。	使用機材の関係で、人数を制限することがある。履修登録する前に、担当教員から受講許可をもらうこと。対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。
OATP8P1	応用解剖学演習I	2	3.0	1	秋C 春AB秋ABC	集中水2	5C119	足立 和隆	応用解剖学に関して、解剖学及び機能形態学の知識に基づいた研究の組み立て方、実験の取り組み方等について、基礎的な指導を行うとともに、実際に予備的な実験を行う。これらと並行して、自身の修士論文に関連する文献を探索し、先行研究における不備な点、明らかになっていない点、あるいは相反する研究結果を見つけ出し、それらの解決に自身の修士論文がどのように貢献できるか考えさせ、その実践への糸口をつかむ。	01EH243と同一。
OATP8P2	応用解剖学演習II	2	3.0	2	通年	随時		足立 和隆	「応用解剖学演習I」で得られた知見をもとに、修士論文の研究計画を詳細に決定し、それに従って実験、調査等を行う。また、6月に開催される修士論文の経過報告に対して、論文のまとめ方、プレゼンテーションの仕方について指導を行う。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。01EH281と同一。
OATP8Q1	健康体力学特別演習	0	3.0	2	通年	随時		西嶋 尚彦	社会人特別選抜入学者で健康体力学分野の学生は、自身の所属する研究領域の演習Iの代わりに、この科目を履修することができる。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。
OATP8Q2	健康体力学特別演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		西嶋 尚彦	年度途中で修了する健康体力学分野の学生は、領域科目の個別研究領域の演習IIの代わりに、この科目を履修する。研究成果について議論を深め、修士学位論文を作成する。	年度途中で修了予定者のみ履修可。対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。
OATP9A1	コーチング論・トレーニング学演習I	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	月4 月3,4	5C504	前村 公彦, 木内 敦詞, 河合 季信, 谷川 聡, 松元 剛	スポーツ・コーチング及びトレーニングに関する内外文献の抄読や実践を通して、研究法などを習得し、科学的知見に基づくコーチング及びトレーニングの在り方を探求する。	教室: 体育学系棟A413 Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH302と同一。
OATP9A2	コーチング論・トレーニング学演習II	2	3.0	2	通年	随時		前村 公彦, 松元 剛, 河合 季信, 谷川 聡, 木内 敦詞	スポーツ・コーチング及びトレーニングに関して、より発展的な内容に関して、内外文献の抄読や実践を行い、研究手法を身につけ論文作成能力を養う。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH292と同一。
OATP9B1	スポーツ運動学演習I	2	3.0	1	春AB 秋AB 秋C	木3 火3 木3,4	5C602	佐野 淳, 中村 剛	演習Iでは以下の内容について専門文献の講読等を通して学習し、専門的知識を身につける。また、スポーツ運動学の研究方法についての理解度を深める。いずれの教員の授業も、日本語、ドイツ語、また英語の専門文献読み発表し、議論を重ねる、というスタイルで授業をしていく。さらに学生には、常に、現場の目線とは何かについて問い続けていく。	01EH306と同一。
OATP9B2	スポーツ運動学演習II	2	3.0	2	通年	随時		佐野 淳, 中村 剛	スポーツ運動学演習Iの履修を前提として(内外の文献の講読による専門知識の習得)、毎週、個別に指導を行い、研究論文(修士論文)の構想の練り方、組み立て方、オリジナルな視点の立て方など論文指導を行う。	01EH294と同一。
OATP9C1	体操コーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	水2 水1,2	体操場	長谷川 聖修, 本谷 聡	体操の運動方法ならびにコーチングに関する内外の文献や資料を題材として、ねらい、対象、運動方法、指導法、評価などについて理解を深めるとともに、討議を通して、体操コーチングに関する論理的な思考を身に付ける。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH309と同一。
OATP9C2	体操コーチング論演習II	2	3.0	2	通年	随時		長谷川 聖修, 本谷 聡	子どもの体力低下・二極化や超高齢社会の到来など、社会的な諸問題について、国内外の文献・資料を調査し、課題を解決するために有用な体操のプログラムやコーチングに関して論文指導を行う。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH296と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP9D1	体操競技コーチング論演習I	2	3.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		渡辺 良夫, 齋藤 卓	体操競技の男子6種目(ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒)、女子4種目(平均台、跳馬、段違い平行棒、ゆか)について、それぞれの種目の発達史、種目特性、技の体系、技術およびコーチング法、ルール等について、国内外の文献や資料の講読と討議を行い、体操競技の指導者としての専門的知識を身に付ける。資料として、主に、現行採点規則の原語版、ドイツ語圏および英語圏の専門文献、日本国内の研究論文などを用いる。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。01EH315と同一。
OATP9D2	体操競技コーチング論演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		渡辺 良夫, 齋藤 卓	体操競技コーチング論の基礎的な理論領域を体系的に理解し、研究法について学習する。体操競技の競技特性、技術、体系論、安全確保と指導法などについての国内外の研究論文を講読し、討議を行うことで専門性を養う。発生運動学における発生分析の方法論と、構造分析論における始原論的分析論、体系論的分析論、地平論的分析論を体操競技コーチング論領域で用いるための方法について学習し、修士論文を作成するために必要な専門的知識を養い修士論文を作成する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。01EH367と同一。
OATP9E1	陸上競技コーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	木3 金4,5	5C515	大山 卞 圭悟, 木越 清信	陸上競技の技術、トレーニング、指導法の研究について実践し、データ分析、プレゼンテーションについて学ぶ。	01EH318と同一。
OATP9E2	陸上競技コーチング論演習II	2	3.0	2	通年	随時		大山 卞 圭悟, 木越 清信	陸上競技種目の技術特性、指導法やトレーニング法について概説し、実験データの活用、実践への適用について学ぶ。	
OATP9F1	水泳競技コーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	月4 月3,4	5C402	仙石 泰雄, 角川 隆明, 本間 三和子, 高木 英樹	水泳競技(競泳・水球・シンクロ・飛込み)における競技レベルに応じた技術(各種泳法)、技術トレーニング、体カトレーニング、指導法について、国内外の文献をもとに、現場におけるコーチングに貢献する研究課題を抽出し、検討する。また、その研究課題を解決する研究方法論について多角的に討議し、修士論文の作成に向けて必要な基礎的知識の獲得を目指す。	01EH321と同一。
OATP9F2	水泳競技コーチング論演習II	2	3.0	2	通年	随時		仙石 泰雄, 本間 三和子, 高木 英樹, 角川 隆明	水泳競技(競泳・水球・シンクロ・飛込み)における競技レベルに応じた技術(各種泳法)、技術トレーニング、体カトレーニング、指導法について、国内外の文献研究から得られた知見をもとに、コーチング場面における実践的な展開を想定したグループディスカッションを行い、更に修士論文作成に向けた具体的な方法論等について検討を行う。また、研究内容や研究結果などを伝えるプレゼンテーション能力についても身につけることを目指す。	
OATP9G1	バレーボールコーチング論演習I	2	3.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		中西 康己, 秋山 央	国内外の専門文献や研究書を講読し、バレーボールのルールや競技特性、基本的な技術、基本的な個人戦術・グループ戦術・チーム戦術、バレーボール競技者に必要な一般的体力要素、ケガを予防するためのトレーニング方法、基礎的なゲーム分析の視点とその方法、競技力を定着させるための指導の方法などについて学習する。また、研究法について学習し、修士論文を作成するための基礎的資質を高める。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。01EH324と同一。
OATP9G2	バレーボールコーチング論演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		中西 康己, 秋山 央	国内外の専門文献や研究書を講読し、バレーボールの発達史、応用技術、応用的な個人戦術・グループ戦術・チーム戦術とその発展、バレーボール競技者に必要な特異的体力要素、パフォーマンスを向上させるためのトレーニング方法、分析ソフトを用いた応用的ゲーム分析方法、競技力を向上させるための指導の方法などについて理解を深める。また、バレーボールコーチング論の研究法について理解し、修士論文を作成する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。01EH374と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP9H1	バスケットボールコーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	水2 水1,2	5C503	内山 治樹, 吉田 健司	複雑なバスケットボールの競技特性について言及する最新の内外のスポーツ科学・トレーニング科学等の諸々の知見を援用しながら、バスケットボール競技のコーチングを、(1) 競技力の構造、(2) コーチの思想・倫理論(フィロソフィー、ディシプリン)、(3) チームマネジメント論、(4) 体力論(エネルギー系体力の内実)、(5) トレーニング論I(期分け、トレーニング構成)、(6) トレーニング論II(最適トレーニング)、(7) 技術・戦術論I(基礎技術、個人戦術)、(8) 技術・戦術論II(グループ戦術、チーム戦術)、(9) 学習・指導論(練習の多様性、文脈干渉効果)などの多角的視点から検討する。	01EH327と同一。
OATP9H2	バスケットボールコーチング論演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		内山 治樹	バスケットボールの複雑な競技特性を踏まえ、あらゆるレベルに共通するオフェンスとディフェンスの考え方や基礎となるドリルを学び、コーチングの前提要件たる指導法の向上を目指す。併せて、実際のコーチング場面で直面する、コーチング・フィロソフィーやディシプリン、チームマネジメント、エネルギー系体力の内実、期分けやトレーニング構成にかかわるトレーニング論、基礎技術や個人戦術やグループ戦術としてチーム戦術にかかわる技術・戦術論、また、練習の多様性や文脈干渉効果などを踏まえた学習・指導論などにおける諸問題を解決するための方策について検証し、バスケットボール競技のコーチングに関わる基礎的な課題について発表・討議する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。
OATP9J1	ハンドボールコーチング論演習I	2	3.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		會田 宏, 藤本 元, 山田 永子	国内外における文献の精読を通して、ハンドボールのコーチングに関する基礎理論および応用理論について学習する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 01EH330と同一。
OATP9J2	ハンドボールコーチング論演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		會田 宏, 山田 永子, 藤本 元	ハンドボールのコーチングに関する研究方法論について学習し、修士論文の作成に必要な知識と技能を養成する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 01EH378と同一。
OATP9K1	サッカーコーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	木3 木3,4	5C513	浅井 武, 中山 雅雄, 小井土 正亮	サッカーコーチに求められる資質である論理的思考とコミュニケーション能力を高めること、修士論文作成に向けての科学的手法によるサッカーのコーチングに関する問題解決能力を高める。サッカーの指導に必要な具体的な問題を自ら設定し、それに関わる内外の文献資料を広く収集する。そして、自らのテーマに関して口頭で発表し、発言能力を高める。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH333と同一。
OATP9K2	サッカーコーチング論演習II	2	3.0	2	通年	随時		浅井 武, 中山 雅雄	自らが設定したサッカーのコーチングに関するチームへのアプローチの仕方、研究の進捗について、定期的に発表と討議を繰り返し、各種の文献を読解し専門的理解を深める。研究の実践を通して論文指導をおこなう。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH380と同一。
OATP9M1	ラグビーコーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	火2 火3,4		古川 拓生	授業は演習形式とし、ラグビーコーチングに関する様々な文献・映像の検討と討議を通して、基本的な知識の習得と各自の研究課題の明確化を図ることを目的とする。授業はオムニバス方式とし、最初は様々なゲームパフォーマンス分析の手法について学ぶとともに、実際の分析手法を用いてゲーム構造に関する理解を深める。次に分析ツールを利用したデータ収集と解析を行い、パフォーマンスの評価法について学習する。最後に先行研究を元に各自で設定したコーチングやトレーニングに関する課題に対してデータの収集と検討を行い、実践知の習得を図る。	教室:体育学系棟B202 01EH336と同一。
OATP9M2	ラグビーコーチング論演習II	2	3.0	2	通年	随時		古川 拓生	授業は演習形式とし、ラグビーのコーチングやトレーニングに関する研究の実践を通じ、研究に関する計画および実施上の問題の検討と討議をとおり問題の解決と研究の進展を図ることを目的とする。授業では、各自が設定した研究テーマに対し指導・助言を行い、データ分析やアカデミック・ライティング、プレゼンテーションの力を高め、最終的には修士論文の作成に必要な知識と技能を習得する。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01EH382と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP9N1	ラケットバットスポーツコーチング論演習I	2	3.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		川村 卓, 吹田 真士, 奈良 隆章, 三橋 大輔	野球・卓球・テニス・バドミントンなどそれぞれの種目固有の特性を学ぶ。ラケットバットスポーツの歴史・指導方法そして研究に関してその意義と現状との差異に関して集団で討論し、また、発育段階における問題点を明らかにして、体系的な指導方法に関してモデルの構築を行う。それを通じてコーチングと研究遂行する基礎的資質を身に着ける。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。01EH383と同一。
OATP9N2	ラケットバットスポーツコーチング論演習II	2	3.0	2	通年	随時		川村 卓, 吹田 真士, 奈良 隆章, 三橋 大輔	野球・卓球・テニス・バドミントンなどそれぞれの種目固有の特性について理解を深める。ラケットバットスポーツに関して体力・技術・心理などの視点から、さらに戦略・戦術・戦法などの視点から従来の方法にとられないコーチング及び指導法を討論し、修士論文の作成に必要な能力を向上させる。	01EH384と同一。
OATP9P1	柔道コーチング論演習I	2	3.0	1	春AB 秋AB 秋C	木2 木1,2	5C401	岡田 弘隆, 増地 克之, 平岡 拓晃	授業は演習形式とし、柔道のコーチングに関する文献・資料を題材として、その現状を討議し、問題点を探りながら基本的な知識の習得と各自の研究課題の明確化を図ることを目的とする。授業はオムニバス方式とし、先行研究を元に各自で設定したコーチングやトレーニングに関する課題に対してデータの収集と検討を行う。	01EH346と同一。
OATP9P2	柔道コーチング論演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		岡田 弘隆, 増地 克之	修士論文の作成に向けて、柔道のコーチングに関する研究方法論について学習し、専門的知識を深め、修士論文の作成に必要な知識と技能を養成することを目的とする。また、データ分析およびプレゼンテーションについて学ぶ。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。01EH386と同一。
OATP9P3	柔道コーチング論実習「形」	3	1.0	1・2	春AB 秋C	水1 金1,2	柔道場	増地 克之	柔道の七つの形である(投の形、固の形、柔の形、極の形、講道館護身術、五の形、古式の形)を行う。投の形と固の形は合わせて乱取の形ともいわれ、それぞれ代表的な技15本を学ぶ。柔の形は、柔の理によって、攻撃防御の方法を緩やかな動作で行う。極の形は、真剣勝負の形とも称され、柔道の技法を駆使した実践的な形で、俊敏な体さばきと効果的な極め方を学ぶ。講道館護身術は、新しい時代にふさわしい表現をとり、武器を持って襲いかかる等の諸暴力などを予想し、身を護る最も代表的な防衛法について学ぶ。五の形と古式の形は技を離れて表現され、芸術の世界にひたらせる形である。 また、段の取得および形競技大会への参加まで視野に入れ行う。	01EH370と同一。
OATP9Q1	剣道コーチング論演習I	2	3.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		香田 郡秀, 鍋山 隆弘, 有田 祐二	研究論文作成のために必要な剣道の試合・審判・形(型)・指導法についての素養を身につける。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。01EH349と同一。
OATP9Q2	剣道コーチング論演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		香田 郡秀, 鍋山 隆弘, 有田 祐二	剣道全般に関して、研究の実践、指導を行い、方法論と関連知識等について論文指導を行なう。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。
OATP9R1	弓道コーチング論演習I	2	3.0	1	春AB 秋AB 秋C	水1 水2 水1,2	弓道場	松尾 牧則	弓道に関する文献(古伝書を含む)を読み下し、弓術・弓具・指導法等に関する理解を深める。伝統的弓道とその指導法を理解し、現代における基本的指導のあり方を理解・修得する。弓道における「五射六科」の内容を学習し、その理解と現代的応用方法について考え、論議する。年齢や経験の違う対象者に対する弓道指導の留意点について理解する。安全で効果的に弓道指導を行う上での現代的課題と弓道指導の将来展望を俯瞰できる能力と実践力を養う。	01EH352と同一。
OATP9R2	弓道コーチング論演習II	2	3.0	2	通年	随時		松尾 牧則	弓道指導に関する文献、古文書、研究論文等により、「五射六科」のうち、弓器・弓工に関する理解を深めるとともに、その実践を試みることを通じて現代的な課題を探っていく。また、伝統的弓道指導法、現代的弓道指導法に関して理解し、その違いと課題を探っていく。指導法に関して様々な観点を見いだし、新たな指導法の可能性を考えていく。弓道指導法、弓具管理法に関する先行研究を理解し、現在の弓道コーチングのあり方、弓道コーチングの将来を展望する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP9S1	野外運動論演習I	2	3.0	1	秋C 春AB秋 ABC	集中 火4	5C502	坂本 昭裕, 渡邊 仁	本授業では、野外運動における自然と文化、人間理解等について、基本的な知識を修得し、理解を深めることを目標に、2名の教員によるオムニバス方式により、授業を実施する。	01EH354と同一。
OATP9S2	野外運動論演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業 中	応談		坂本 昭裕, 渡邊 仁	野外運動・野外教育分野における修士論文の作成に向けて、まず、興味関心のある実践や研究について国内外の動向を把握し、自分自身の研究課題を探求する。具体的には、関連する先行研究についてレビューし、研究課題あるいは、テーマの設定を行う。次に、研究・調査を計画し、研究課題を解決するための適切な研究方法論について学修し関連の知識を得る。これらについて、毎回プレゼンテーションを行い、研究を進める上での諸問題について討議する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 01EH392と同一。
OATP9S3	野外運動論実習	2	2.0	1	春AB 通年	月6 集中	5C502	坂本 昭裕, 渡邊 仁	本時においては、野外教育に関連した外部団体と連携し、野外教育プログラムについて、1)企画・立案、2)実施・運営、3)評価に関与することを通して、総合的に野外教育事業をマネジメントする能力を修得することがねらいである。具体的には、企画では、野外教育事業の対象、目的、プログラム、組織について立案することを実施する。運営では、実地踏査、参加者の募集、参加者への指導を実践する。さらに評価においては、報告書等の作成を通して振り返りを行う。	01EH393と同一。
OATP9T1	舞踊論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	火4 火3,4		平山 素子, 寺山 由美	舞踊(ダンス)分野に関する国内・国外の文献、資料を中心に近年の舞踊論における研究の動向と諸問題について学習するとともに、舞踊論の研究手法論について理解を深める。さらに、研究対象を明確にするための考察を行う。	教室:体育学系棟 A415(舞踊作業室) Zoomなどリアルタイム 双方向サービスを用いて 正規の授業期間に開講する (manabaの併用を含む) 01EH361と同一。
OATP9T2	舞踊論演習II	2	3.0	2	通年	随時		寺山 由美, 平山 素子	舞踊論・舞踊教育学分野における修士論文の作成に向けて、国内外の舞踊に関する論文や研究資料を参考に研究動向を把握しながら、論文作成のための方法論と関連知識を身につける。その上で、自らの修士論文の研究課題を選定し、関連する先行研究の検討を行う。さらに、研究目的や研究方法を明確にして研究を進め、修士論文として研究成果をまとめる。また、研究発表の方法やプレゼンテーションの方法も習得し、他者へ自分の考えを伝達する能力を養成する。	Zoomなどリアルタイム 双方向サービスを用いて 正規の授業期間に開講する (manabaの併用を含む) 01EH395と同一。
OATP9T3	舞踊表現技術実習	2	1.0	1	春AB 秋AB	木4 水2	ダンス 場	平山 素子	コンテンポラリーダンスを扱う。呼吸、フロアを使ったムーブメントやカウンターバランスなどの動きの理論を体験し、音楽、動きのコンセプトなど発想を広げる。個々が多様な身体表現の可能性を探る機会を促す。	Zoomなどリアルタイム 双方向サービスを用いて 正規の授業期間に開講する (manabaの併用を含む)
OATP9U1	コーチング学特別演習	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業 中	応談		渡辺 良夫	社会人特別選抜入学者でコーチング分野の学生は、自身の所属する研究領域の演習IIの代わりに、この科目を履修することができる。スポーツに関する国内外の専門文献、研究資料などの講読し、それについてディスカッションを行う。コーチング学分野に関する研究法について学習し、研究を遂行する上で必要な基本概念、手段、手順などについて学習し、基本的な研究力を身につける。自分自身のテーマを決定し、研究遂行するための基礎的能力を身につける。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。
OATP9U2	コーチング学特別演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業 中	応談		渡辺 良夫	年度途中で修了するコーチング学分野の学生は、領域科目の個別研究領域の演習IIの代わりに、この科目を履修する。専門文献、研究資料などの講読し、それについてディスカッションを行う。スポーツに関する研究法について学習し、研究を遂行する上で必要な基本概念、手段、手順などについて深く理解し、研究力を向上させる。関連分野の研究成果について議論することによって自分自身のテーマを決定し、修士学位論文を作成する。	年度途中で修了予定者のみ履修可 対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 01EH365と同一。
OATP9V1	コーチング特別課題研究I(設計)	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	月1 月1,2		中山 雅雄	それぞれの専門種目において、国をリードする監督やコーチとなり、将来的には統括祖機での指導的役割を担う人材を養成を目的とするナショナルリーディングコーチ系列の科目である。自らのトップレベルの競技経験から導き出された課題をいかに科学的に研究するかについての方法論を中心に指導する。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。 01EH715と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OATP9V2	コーチング特別課題研究II(展開とまとめ)	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		香田 郡秀, 内山 治樹, 本間 三和子, 岡田 弘隆	それぞれの専門種目において、国をリードする監督やコーチとなり、将来的には統括祖機での指導的役割を担う人材を養成を目的とするナショナルリーディングコーチ系列の科目である。自らのトップレベルの競技経験から導き出された課題を科学的方法論に従いながら分析し、それらを論文としてまとめる。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。01EH716と同一。